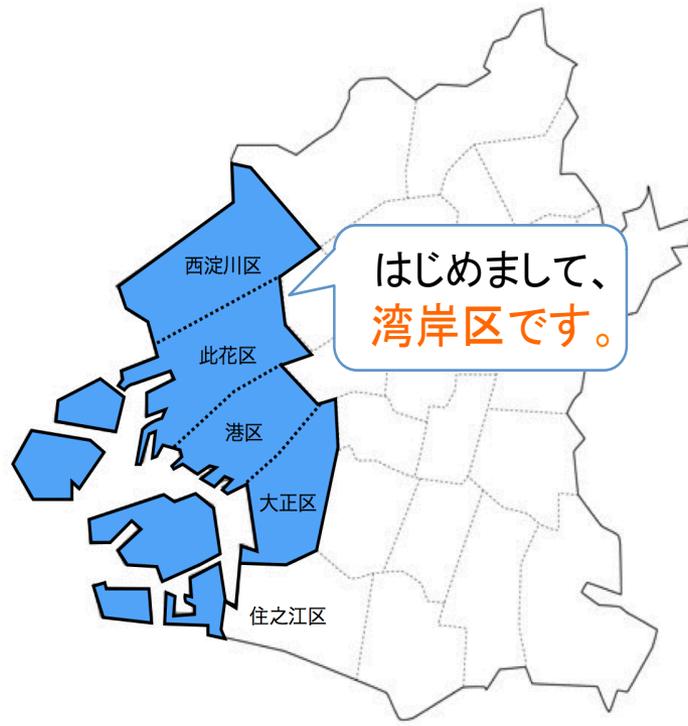




未来の風を感じる街

— 湾岸区マニフェスト —



湾岸区政策委員会

2014/09/10

特別区の設置が実現すれば、湾岸区の区長を選挙で選べるようになります。特別区の区長は予算編成権、人事権、条例提案権という強力な権限を持ち、選挙で掲げたマニフェストの実現に全力を尽くすようになります。

これまでの政令市としての大阪市では約267万人の人口に対して、1人のリーダーしかおらず、基礎自治体として、目を行き届かせる事は非常に難しい体制でした。特別区を設置し、約35万人に1人のリーダーという体制を作ることにより、これまでより一層目の行き届いた住民の声を活かした区政が実現出来るようになります。

住民が力を合わせれば統治機構を変えられます。役所の形を変えられます。政治を動かします。大阪都構想は、真の民主主義実現への挑戦です。大阪の未来の形は議会や役所だけで決めるのではなく、**住民投票という究極の民主主義**のプロセスで決めるべき重要な問題なのです。大阪都構想の主役は大阪に住む一人一人の住民です。

大阪の未来を変えられる力を持っているのは住民の皆様なのです。

はじめに ~理念 湾岸区のすがた 歴史~

湾岸区の街づくり 6つの中期目標

災害に強い人づくり・街づくり

バイエリアの新しい街づくり

陸と水上の交通網 ~東洋のベニス~

基礎学力の向上と学校教育先進都市へ

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

世界レベルの海上リゾート

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

はじめに ～理念 湾岸区のすがた 歴史～

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

理念

湾岸区には無限の可能性があります。
テーマパーク、都市型水族館、舞洲
スポーツアイランドやインテックス大阪、
大阪市立中央体育館など、大阪を代表
する施設が数多く存在し、湾岸区の
魅力を高めています。
また、湾岸区には規制のかかった
広大な開発用地が未だ手付かずの
ままになっています。



※広大な開発用地(舞洲・夢洲周辺)

これらの規制を緩和して民間活力を最大限引き出しながら「港」や「河川」を魅力ある水辺へと再生し、新たな居住空間や商業スペースを生み出します。

さらに経済特区の活用や統合型リゾートの誘致によって多くの企業や産業を呼び込み、ベイエリアに人の賑わいを生み出し、日本を代表するウォーターフロントとして世界中から「人、もの、情報」が集まる『未来の風を感じる街』を目指します。

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

湾岸区のすがた

「湾岸区」の区役所庁舎及び支所の位置や、職員数、歳出額、承継される財産などの行政に関する指標は以下のとおりです。

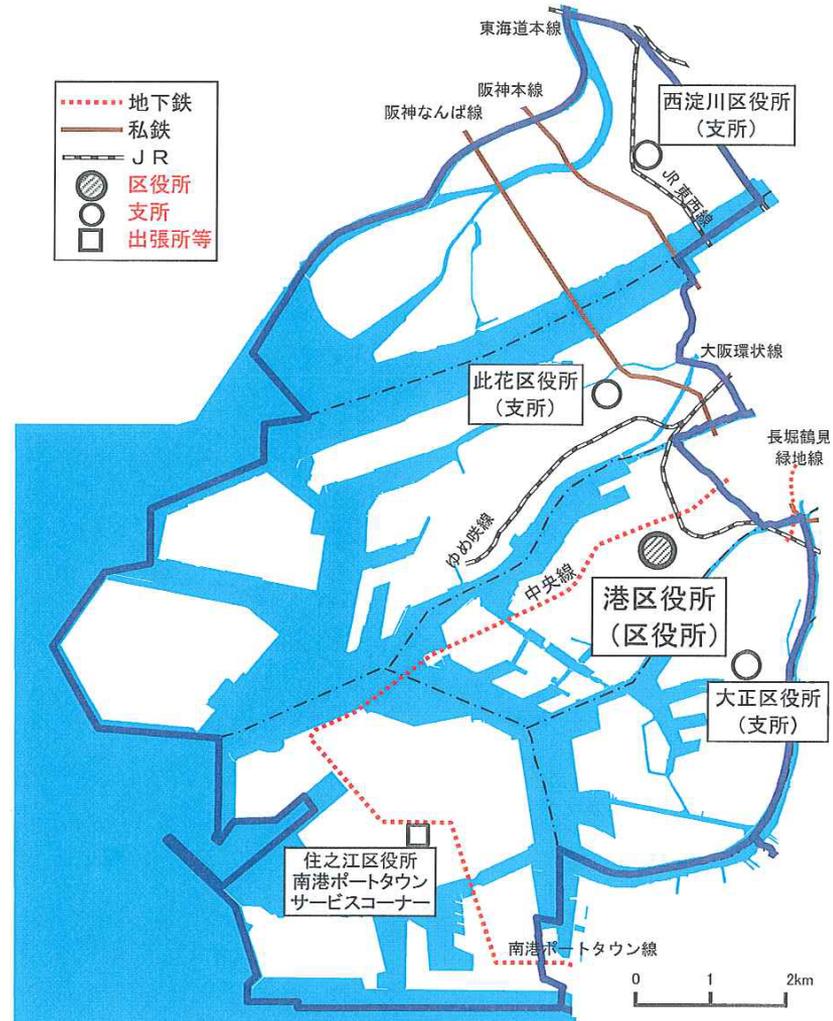
区役所・支所等の位置「湾岸区」の区役所は、現在の港区役所になります。区域にあるその他の現在の区役所は引き続き支所として私用され、窓口業務などを行うこととなります。

【「湾岸区」区役所（港区役所）の交通アクセス】

- 最寄り駅
地下鉄中央線・JR環状線
「弁天町」駅 徒歩 10分
- 他の区役所等からの所要時間※
此花区役所より 31分
大正区役所より 32分
西淀川区役所より 31分
住之江区役所南港ポートタウンサービスコーナーより 33分
(平均 32分)

※電車・バス・徒歩による所要時間

区役所	所在地
港区役所	大阪市港区市岡 1丁目 15番 25号
支所・出張所等	所在地
此花区役所	大阪市此花区春日出北 1丁目 8番 4号
大正区役所	大阪市大正区千島 2丁目 7番 95号
西淀川区役所	大阪市西淀川区御幣島 1丁目 2番 10号
住之江区役所南港ポートタウンサービスコーナー	大阪市住之江区南港中 2丁目 1番 99号



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

湾岸区のすがた

行政に関する指標（※内容は平成26年7月時点のもの）

特別区の設置の日における職員配置数は約1,600人になります。

試算では、将来の職員配置数案は1,489人で、歳出額（一般財源）は、平成24年度決算ベースで806億円になり、豊中市を上回る規模になります。区に承継される財産は、総額で8,024億円になります。財政調整を踏まえた人口一人当たり裁量経費は42,510円になります。

また、各特別区の人口一人当たりの歳入を見ると、財政調整前の格差2.8倍が財政調整後には1.2倍まで是正されることになります。

【「湾岸区」の行政関連指標】

①区議会議員定数	②特別区の設置の日における職員配置数		③将来の職員配置数案 (特別区長マネジメントの範囲)		
12人	約1,600人		1,489人 (1,400~1,550人)		
④歳出額（一般財源） 【H24 決算】			【参考・近似市】歳出額（一般財源） 【H23 決算】		
806億円			豊中市 774億円		
⑤承継される財産	⑥人口一人当たり裁量経費 (財政調整後)	⑦区間格差 (人口一人当たりの歳入)			
		財政調整前	財政調整後		
8,024億円	42,510円	2.8倍	1.2倍		
⑧市民利用施設					
図書館	スポーツセンター	プール	区民センター・ホール	老人福祉センター	子ども・子育てプラザ
4館	4カ所	4カ所	7カ所	4カ所	4カ所

※①及び②は、特別区設置協定書（案）によるもの

※③～⑦は、平成26年7月時点での試算によるもの

※⑧は、平成26年7月時点の状況をまとめたもの

※財政調整とは、特別区の事務分担に応じたサービスが提供できるように財源を調整すること

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

湾岸区のすがた

議会について

「湾岸区」の区議会議員定数は12人です。

それは現在の大阪市議会議員の各区の定数を足したもので、現状の市会議員の数でこれまでも各区の民意を汲み取る機能を果たしてきたとする前提に立っています。

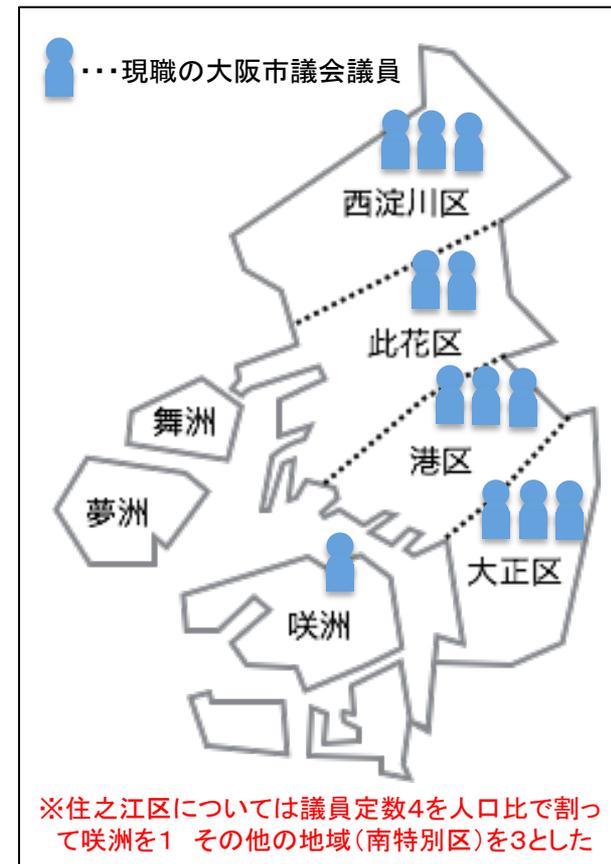
今後、議員定数の改正については新たな区議会のなかで十分議論した上で必要があれば変更していくべきと考えています。

議員報酬について

議員報酬については現状の大阪市会議員の報酬から**3割削減**します。

特別区になってもこれまでの大阪市が積み重ねてきた膨大な借金が一挙になくなるわけではありません。

都構想はゴールではなく、大阪が元気になる課程の1つと捉え、今後も政治家が率先して身を切る改革を貫く姿勢を示すことで行政のムダを解消する改革を続けていきます。



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

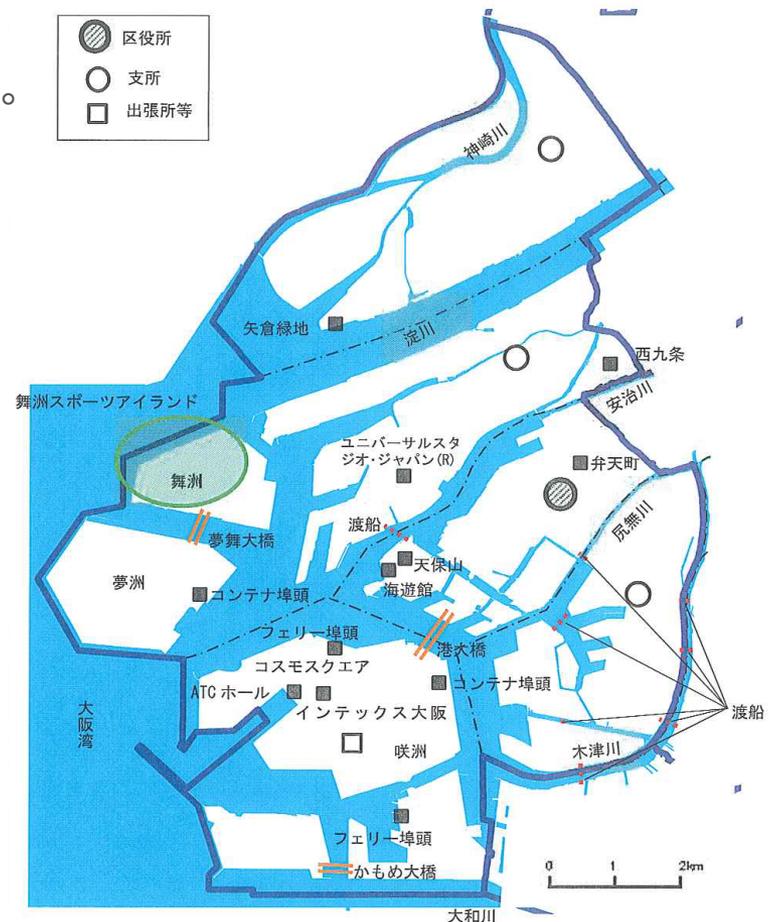
湾岸区のすがた

「湾岸区」の状況

「湾岸区」の地勢等に基づくまちの特徴は次のとおりです。

・西側が大阪港にひらけ、海の玄関口に位置する「湾岸区」は、淀川、安治川、尻無川、木津川など多くの河川や運河が大阪湾に向かって流れる水運に恵まれた街です。大阪湾には、埋立によりできた咲洲、夢洲、舞洲を有しています。

・区域は南北に長く、北は神崎川を隔てて兵庫県尼崎市に隣接し、南は大和川を隔てて堺市に隣接しています。



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

湾岸区の歴史

「湾岸区」の歴史

「湾岸区」一帯は、古代には、大阪湾の海中にありましたが、やがて北から淀川、南から旧大和川が運び込む土砂によって、難波八十島と呼ばれる干潟地帯となっていきました。この地域に「島」の文字がついた地名が多く残っているのはその名残りです。江戸時代になると、干潟地帯では、町人請負による新田開発が盛んに行われ、一大農地が造成されました。

明治に入り、臨海地域では、大阪港の築港事業とともに埋立て事業が積極的に行われました。ここに紡績工場や造船所などが次々と建設され、阪神工業地帯の中核として発展していきました。工業化と市電の開通などの恩恵を受け、農地を住宅地に転用し、しだいに市街化していきました。

近年は、産業構造の変化に伴い、工場の移転・集約や研究・開発部門への転換が図られ、臨海地域では平成13年に「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン(R)」がオープンするなど、新たな賑わいを見せています。

未来の風を感じる街

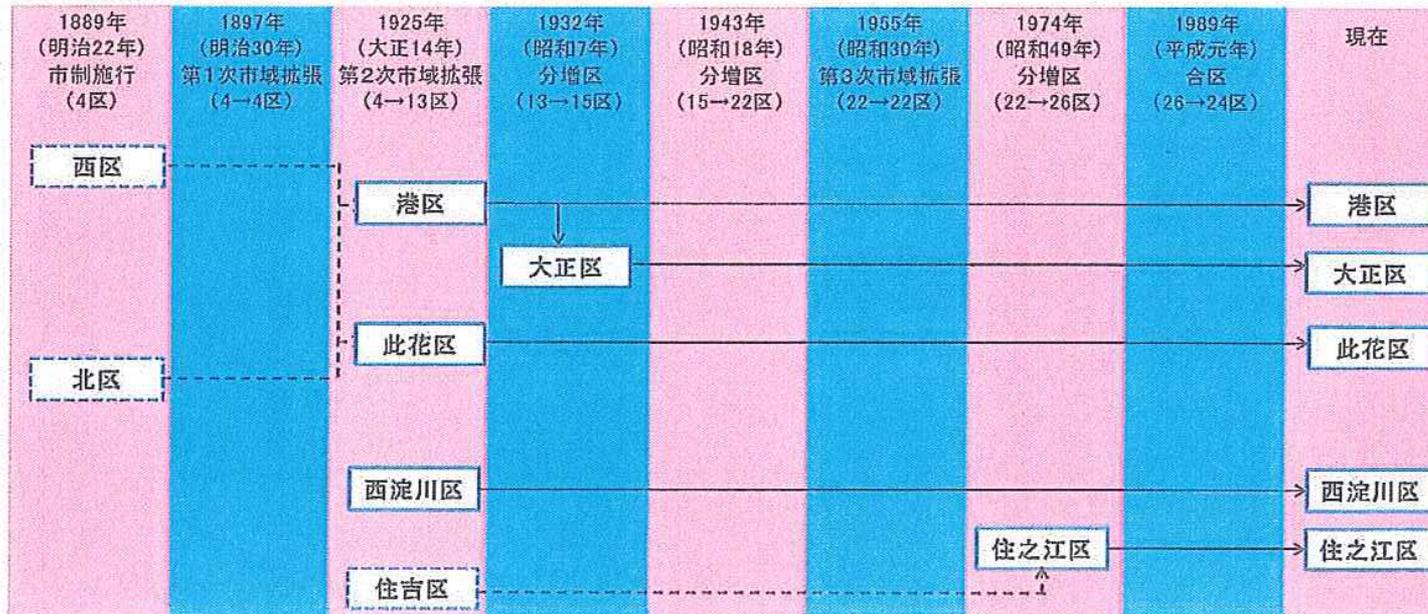
- 湾岸区マニフェスト -

湾岸区の歴史

[区の沿革]

埋立地域を除く区域の大部分は、明治30年の第1次市域拡張時に大阪市に編入されました。その後、西淀川区域は大正14年の第2次大阪市域拡張時に大阪市に編入され、此花、港、大正のそれぞれ西側及び咲洲・難航地域は昭和40年以降、埋め立てられ、「湾岸区」の形となりました。

【構成行政区の変遷（イメージ）】



出典：特別区の概要
平成 26 年 7 月 23 日
大阪府・大阪市特別区設置協議会
事務局：大阪府市大都市局
<http://www.city.osaka.lg.jp/toshiseidokaikakushitsu/cmsfiles/contents/0000275/275299/shiryou5.pdf>

未来の風を感じる街

- 湾岸区マニフェスト -

湾岸区の基礎データ

(参考)「湾岸区」の統計基礎データ

項目		出典等
土地利用	建物用途〔H19〕	51.1%
	内訳	
	住居	19.3%
	商業	13.4%
	工業	56.2%
	その他	11.1%
	非建物用途〔H19〕	48.9%
住宅	持ち家割合	50.4%
	借家割合	49.6%
	形態	
	一戸建て	27.1%
	長屋建て	4.8%
	共同住宅	68.0%
	市営住宅の戸数(区内割合)	18,390戸(12.1%)
	府営住宅の戸数(区内割合)	981戸(0.6%)
まち・暮らし	鉄道駅数(1kmあたり)	25駅(0.4駅)
	居宅介護事業者(1kmあたり)	390業者(6.7業者)
	認可保育所定員〔H25.10〕 (就学前児童100人あたり)	6,327人(34.7人)
	保育所	
	国立	60
	公立	0
	私立	22
	38	
	幼稚園	
	国立	23
公立	0	
私立	7	
16		
小学校		
国立	49	
公立	0	
私立	48	
1		
中学校		
国立	21	
公立	0	
私立	19	
2		
高校		
国立	13	
公立	0	
私立	10	
3		
短大		
国立	0	
公立	0	
私立	0	
0		
大学		
国立	2	
公立	0	
私立	0	
2		
病院・診療所数(1kmあたり)	313ヵ所(5.4ヵ所)	
町会・自治会等加入率	77.9%	
国民健康保険加入者数〔H25.3〕 (加入率)	104,709人(30.7%)	
生活保護人員〔H25.3〕 (生活保護率)	16,589人(48.6%)	

(参考)「湾岸区」の統計基礎データ

項目	数値	出典等
人口〔H22〕	343,986人	
年齢別	15歳未満	12.5%
	15歳以上65歳未満	64.4%
	65歳以上	23.1%
将来推計人口〔H27〕	335,835人	
年齢別	15歳未満	10.9%
	15歳以上65歳未満	62.7%
	65歳以上	26.4%
将来推計人口〔H37〕	310,402人	
年齢別	15歳未満	7.9%
	15歳以上65歳未満	65.0%
	65歳以上	27.1%
将来推計人口〔H47〕	276,686人	
年齢別	15歳未満	7.6%
	15歳以上65歳未満	63.7%
	65歳以上	28.6%
人口〔H17〕	343,036人	
世帯数〔H22〕	154,953世帯	
世帯構成	単身世帯(高齢単身除く)	26.1%
	高齢単身世帯	13.0%
	2人世帯(高齢夫婦世帯除く)	17.9%
	高齢夫婦世帯	9.2%
	その他(3人以上世帯)	33.8%
昼間人口〔H22〕 (昼夜間人口比率)	372,363人(108%)	
人口密度〔H22〕	5,891人/km ²	
外国籍住民数〔H22〕	7,736人	
面積	58.39km ²	
産業	総生産〔H21〕	1兆4,334億円
	事業所〔H24〕	16,200ヵ所
	従業者〔H24〕	188,286人
	販売額〔H24〕	1兆1,308億円
	事業所〔H24〕	2,893ヵ所
	従業者〔H24〕	22,877人
	出荷額〔H24〕 (事業所あたり)	1兆2,279億円(10.1億円)
	事業所〔H24〕	1,214ヵ所
	従業者〔H24〕	31,323人
	企業本数〔H24〕	5,506社

未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

湾岸区の街づくり 6つの中期目標

未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

湾岸区 中期目標

- I. 災害に強い人づくり・街づくり
- II. ベイエリアの新しい街づくり
- III. 陸と水上の交通網 ～東洋のベニス～
- IV. 基礎学力の向上と学校教育先進都市へ
- V. きめ細かな医療・福祉・子育て政策
- VI. 世界レベルの海上リゾート ～大阪IR構想～

未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

災害に強い人づくり・街づくり

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

災害に強い人づくり・街づくり

湾岸区が抱える防災の課題

防潮堤の耐震化と地盤の液状化対策

- ・湾岸区は川と海に囲まれ、防潮堤によって水害から街を防御しています。しかし、**老朽化した防潮堤も多く、大規模な震災によって倒壊する恐れのあるものもある**ため、防潮堤の耐震補強工事が急務です。
- ・さらに、大きな揺れによって防潮堤の土台となる地盤が液状化した場合、防潮堤が沈降し、**海抜の低い地域では発災直後から浸水する可能性**が指摘されています。防潮堤の整備とあわせて地盤の改良工事も行っていく必要があります。

津波避難ビルの確保

- ・大規模な津波災害が予測される場合に住民が避難出来る津波避難ビルは、現在、民間の企業やマンションなどの協力も得て一時退避場所の確保が進められています。しかし企業のビルは夜間や休日にはシャッターが下りているものや、マンションではオートロックのものが多く、いざという時に確実に避難出来るビルの確保が必須です。

防災組織の横の連携

- ・災害の被害を最小化するためには正確な情報共有と迅速な避難が必要です。そのため、これらを担う地域防災リーダーや、防潮鉄扉の防御にあたる水防団、防火協力会などの各組織が連携して減災にとりくむ、**災害に強い組織づくり**が必要です。



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

災害に強い人づくり・街づくり

防潮堤による確実な防御

(目指すべき将来像)

想定される津波や高潮などの水害から
確実に街を防御出来る態勢づくり

(具体的施策)

現行施策の確実な実行

- ・大阪府と大阪市が、10年間で2100億円をかけて整備を進める、総延長89キロの防潮堤の整備を都構想実現後も広域行政と連携して引き続き推進するとともに、緊急対策に指定されなかった地域の対策を広域行政に対して強く求めます。

防潮鉄扉の自動化および

不要な鉄扉の廃止

- ・約400カ所にも及ぶ防潮鉄扉のうち、有事の際には人力で封鎖する必要のある箇所を早期に自動化し、人為的要因による水害の拡大を予防します。
- ・使われなくなった鉄扉や他の方法によって廃止出来る鉄扉は積極的に廃止を行い、管理コストを低減するとともに、水害の拡大リスクを排除します。



液状化対策と堤防強化が海抜ゼロメートル地域から優先して行われています。時間と費用がかかるものの、防潮堤の整備は湾岸区的最優先事項です。



湾岸区には400カ所もの防潮鉄扉を有しています。防潮鉄扉は大小様々ありますが、1カ所の漏れもなく、その全てが機能するよう訓練と整備を行います。

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

災害に強い人づくり・街づくり

使わなくなった運河・河川の埋立て

(三軒家川、六軒家川、正蓮寺川、大野川等)

(目指すべき将来像)

- ・水害から街を確実に防御します。
- ・街の魅力を高めつつ、水害に強いまちづくりを推進します。

(具体的施策)

河川の埋立てと親水公園の整備

- ・現在埋立工事が進んでいる正蓮寺川整備事業を進め、緑地公園として整備することで街を水害から防御するとともに街魅力を高めます。
- ・六軒家川は行き止まりの川となっており、現在水運としての利用がないため、防災の観点から埋立てた上で親水公園として整備します。
- ・三軒家川は水運の利用がある下流を残し、後背地に浸水の恐れがある国道43号線より北側を埋立てた上で公園として整備します。
- ・既に公園として整備されている大野川緑陰道路もその魅力向上の為水辺の魅力を感じる道へと改修を行います。

湾岸区内で検討する河川の埋立てと公園整備箇所



河川の埋立てと公園整備イメージ



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

災害に強い人づくり・街づくり

公共施設等建替え時の高機能避難所化

(電源確保・中層備蓄庫・バリアフリー・点字・視覚サイン等)

(目指すべき将来像)

万一の被災時や、警戒による避難の際に、すべての住民が不安なく避難出来る避難所を整備します。

(具体的施策)

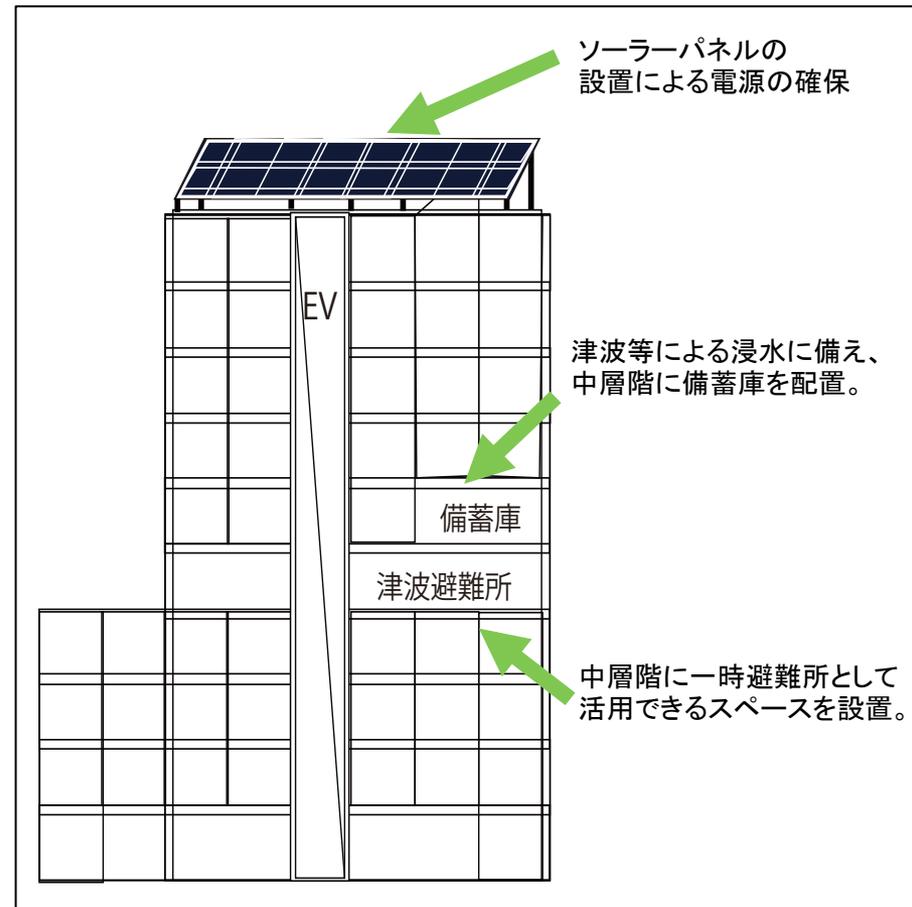
公共施設の高機能避難所化

- ・公共建築物の建て替え時には、太陽光パネル等の設置により、災害時にも必要最低限の**電源を確保し情報収集**が行える体制を整えます。
- ・避難所として使用するスペースには、バリアフリーはもとより、点字や視覚サインなどを配置し、**災害弱者の不安とストレスに配慮**します。

民間ビルとの協力

- ・協力してもらえる民間ビルに対して、一時待避所の指定を行い、湾岸区全域で**統一デザインの表示板**を掲示します。
- ・避難物資の備蓄庫設置等を進める民間ビルに助成を行い、災害時には夜間人口だけでなく、昼間人口をカバーする収容体制を早期に構築します。

高機能避難所を備えた公共建築物(イメージ)



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

災害に強い人づくり・街づくり

湾岸区防災センターの新設

(目指すべき将来像)

災害発生時や警戒時に広域と地域から多面的に情報を収集し、住民に的確な指示を伝えることによって災害の被害拡大を抑制します。

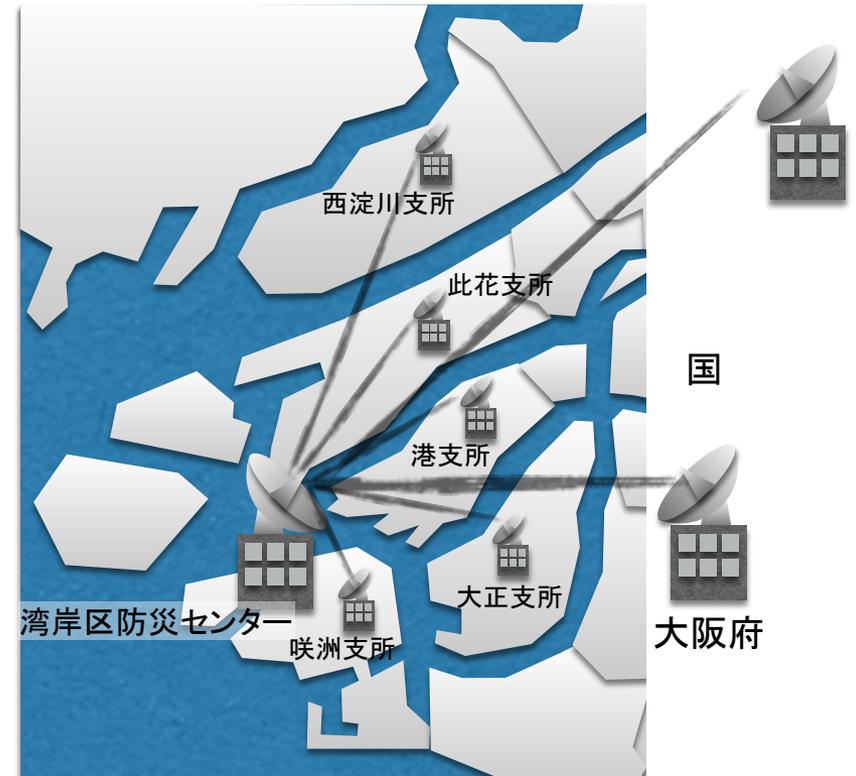
(具体的施策)

情報の一元化

湾岸区防災センターを新設し、ICT技術の活用によって国や大阪府からの情報取得の一元化を図ると共に、区域住民への情報発信機能を防災センターに一本化します。

きめ細やかな情報伝達網の整備

現場に的確に情報が伝えられる様、支所(現在の区役所)との連携を強化し、**地域住民へ確実に情報が伝達されるきめこまやかな情報共有体制**を整備していきます。



未来の風を感じる街

- 湾岸区マニフェスト -

災害に強い人づくり・街づくり

水防団・防災リーダーを中心とした湾岸区防災救命団の創設

(目指すべき将来像)

- ・地域の防災を担う各種団体の**横の連携を強化し**、一元的に活動出来る組織を作ることによって防災機能を高めます。
- ・様々な団体を構成員に巻き込むことによって、これまで防災活動に関わりのなかった地域人材の中から**新たな地域防災の担い手を育成**します。

(具体的施策)

湾岸区防災救命団の創設

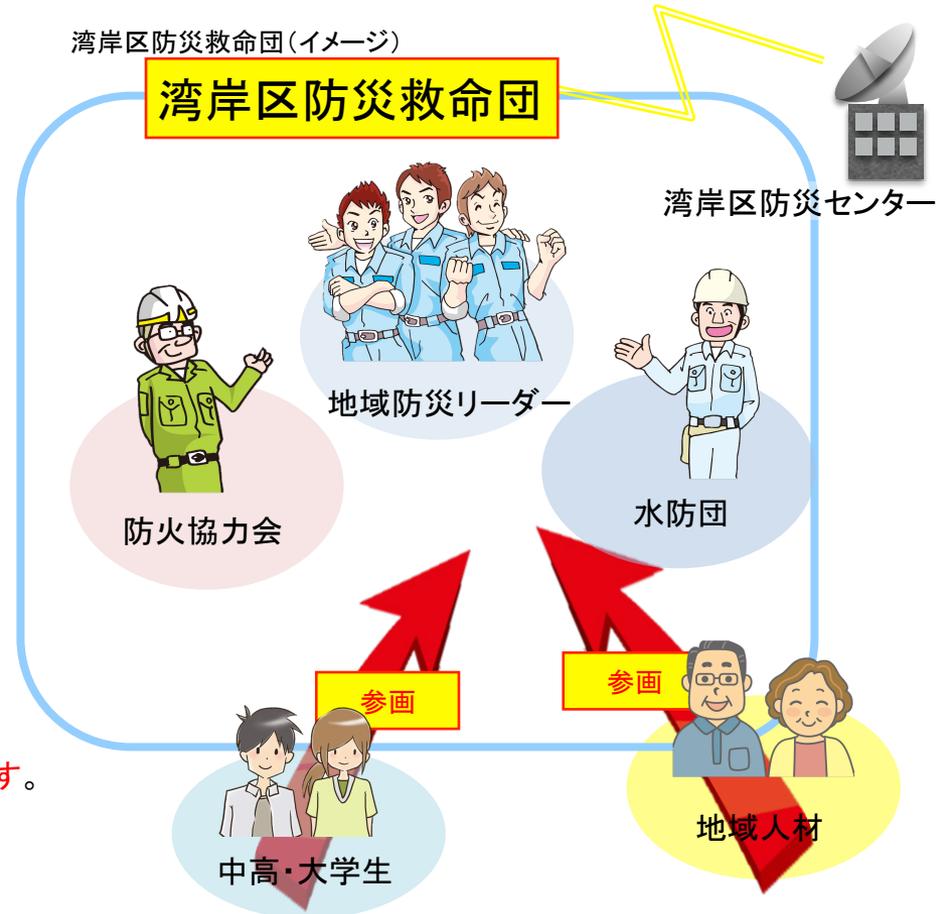
- ・水防団や地域の防災リーダー、防火協力会等に加え、中学生以上の地域人材が一元的に機能する湾岸区防災救命団を**各旧行政区ごとに創設**します。
- ・湾岸区防災救命団は、湾岸区防災センターで一元管理された情報を元に活動し、幅広い防災の役割を担います。

新たな地域人材の参画促進

- ・小・中学校における土曜日授業等を活用し、児童・生徒・PTAと地域住民が湾岸区防災救命団と共に防災訓練を行う等の取組みを推進し、救命団と地域のつながりを強化するとともに、新たな地域防災の担い手を増やし、**防災意識の高い住民を育てていきます**。

湾岸区防災救命団(イメージ)

湾岸区防災救命団



未来の風を感じる街

- 湾岸区マニフェスト -

災害に強い人づくり・街づくり

災害発生から避難困難者避難までの手続きの比較

避難困難者の避難策の構築

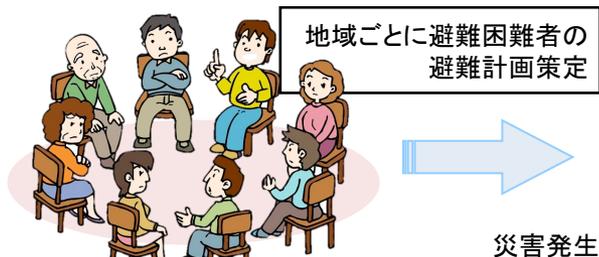
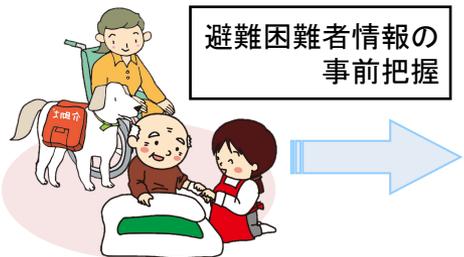
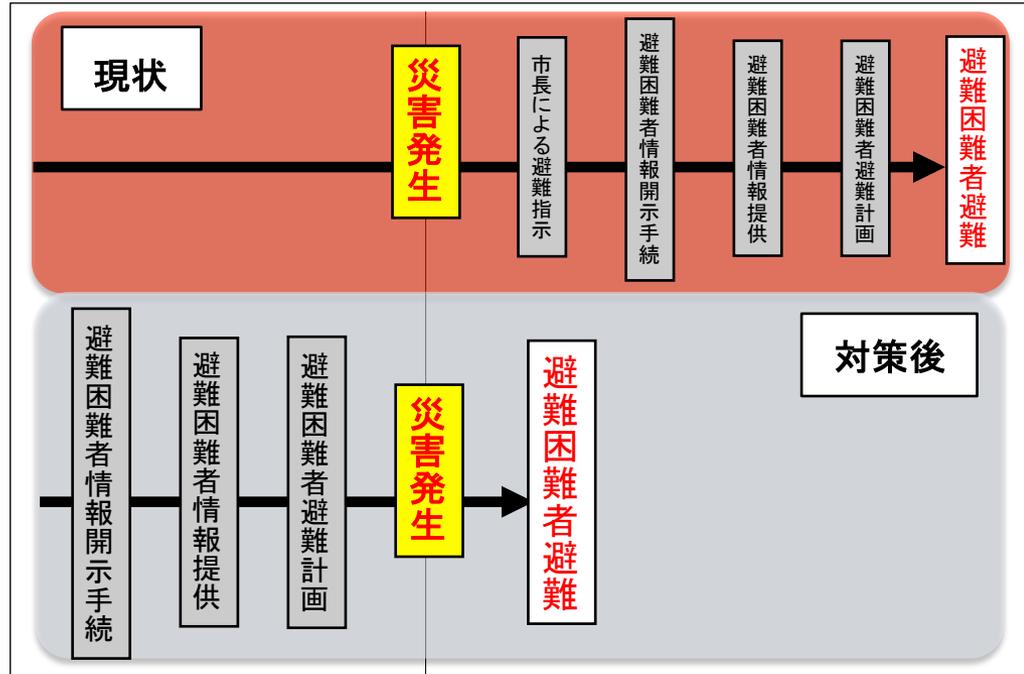
(目指すべき将来像)

災害発生時、または警戒時において、車椅子や寝たきりなど自力で避難することが難しい避難困難者の住民についても、地域の共助の中で確実に避難出来る体制を構築します。

(具体的施策)

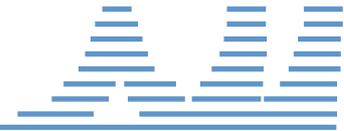
避難困難者情報を災害発生前に
収集、開示する為の条例整備を行う

発災後に個人情報開示の手続きを踏んでいては、避難計画の策定など対応が後手となり、**人命に関わる**事態が想定されることから、個人の持つ障がい等の情報について、非常にプライバシーレベルの高い情報ではあるものの、本人(ご家族)の同意を得た上で特定の人物(防災救命団など)に対して開示し、事前に避難計画が策定できるよう条例整備を行います。



災害発生から避難困難者避難までの手続き(イメージ)

未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

ベイエリアの新しい街づくり

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

ベイエリアの新しい街づくり

湾岸区が抱えるまちづくりの課題

防災上の課題(再掲)

- ・東日本大震災の影響で湾岸部全体に防災面でのネガティブなイメージ
- ・湾岸区内の複数の地区で海拔0メートル以下の地盤を有しています。

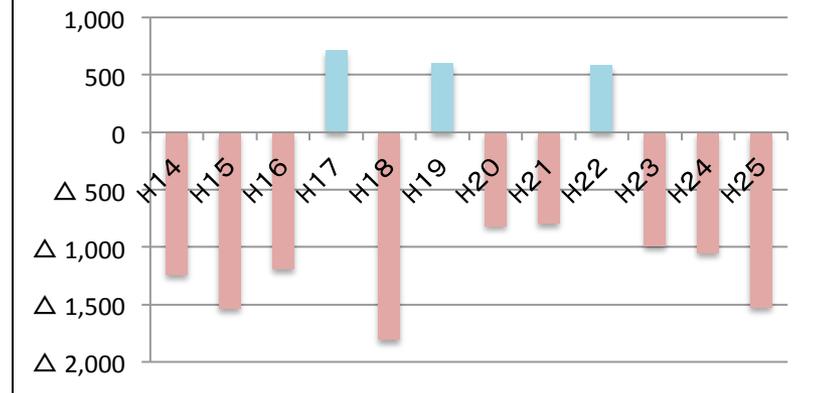
人口の課題

- ・新特別区5区の中で最も人口が少なく
H22年度343,986人 → H47推計 276,686人
社会増減(転入者から転出者を引いた数)においても東北の震災以前よりマイナス傾向が続いており、
津波被害が不安視される以前から人口流出している街と言えます。
- ・総生産額、昼間人口、事業所数においても最小値であり平成47年推計では高齢化率28.6%と予測されており、現役世代の呼び込みに課題があると言えます。

臨港地区規制の課題

- ・大阪市では港に面する土地の多くが、臨港地区に指定され、港としての物流機能を中心に街づくりが進められてきました。
そのため、ベイエリアには工場や倉庫ばかりが建ち並び、人々が住み暮らせるような街づくりは規制されてきました。

湾岸区 社会増減数(住之江区全域含む)



区分	平成 22 年	平成 27 年	平成 37 年	平成 47 年
総人口(人)	343,986	335,835	310,402	276,686
年少人口 (0歳～14歳)	42,801 12.5%	36,746 10.9%	24,392 7.9%	21,126 7.6%
生産年齢人口 (15歳～64歳)	220,568 64.4%	210,416 62.7%	201,817 65.0%	176,365 63.7%
老年人口 (65歳～)	78,915 23.1%	88,674 26.4%	84,192 27.1%	79,195 28.6%

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

ベイエリアの新しい街づくり

風薫る緑豊かな居住空間の創出

(桜島エリア・海岸通エリア・鶴浜エリア等)

(目指すべき将来像)

ベイエリアに新たな居住空間を創出し、人と賑わいを呼び込みます。

(具体的施策)

臨港地区規制の緩和

- ・臨港地区規制の緩和、又は臨港地区区分の変更により、これまでの港湾物流機能を中心に進められてきたベイエリア開発を見直し、さまざまな用途での開発を可能にします。

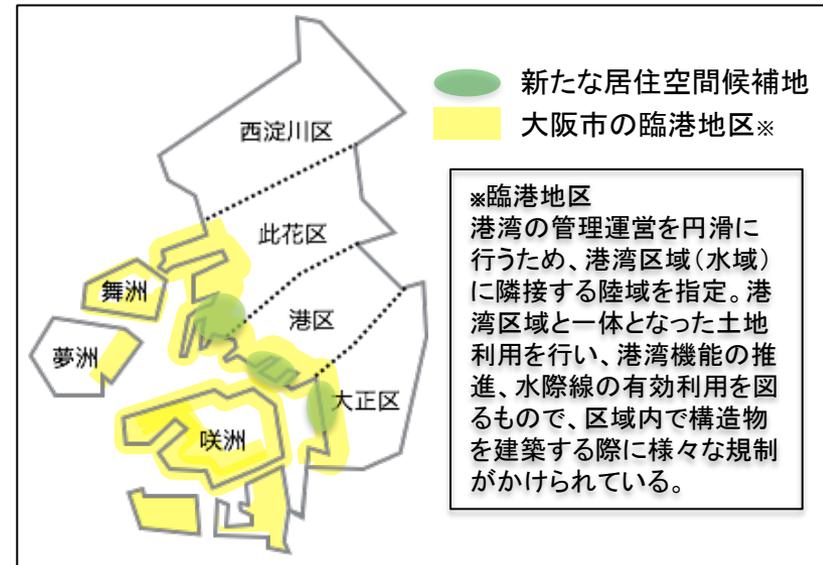
民間企業への呼びかけ

- ・規制緩和を推し進めることで海沿いの豊かな環境を活かし、民間事業者が投資しやすい環境を整備し、ムダな税金を使わない民間主体の街づくりをすすめます。

街魅力を高める連携

- ・また、新たな交通網や先進的な教育施策、充実した福祉設備や公園をはじめとした緑豊かな生活環境との一体的な開発で「都心へ一番近いベッドタウン」としてベイエリアを再生します。

大阪市の臨港地区



規制緩和による湾岸部のまちづくり(イメージ)



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

ベイエリアの新しい街づくり

使わなくなった運河・河川の埋め立て

親水・緑地公園の整備による街魅力の創出(再掲)

(正蓮寺川・六軒家川・三軒家川・大野川緑陰道路)

(目指すべき将来像)

これまでの防災一辺倒の施策から脱却して
水害に強い街づくりを実現しながら街の魅力を高めます。

(具体的施策)

使わなくなった運河・河川を埋め立て、
親水公園として整備します。

- ・防潮堤の整備事業は、その建設費もさることながら、将来に渡って耐震補強や地盤強化、補修管理のために莫大な費用がかかる一方、街づくりの観点から見れば人と川をコンクリートの高い壁で隔離し、水辺の持つ魅力を完全に殺してしまいます。
- ・使わなくなった運河や河川を埋め立てることで地盤を高くし、さらに親水公園や緑地公園として生まれ変わらせることで、**身近で楽しめる水辺の魅力**を創出しまち魅力の向上につなげます。
- ・既に整備されている大野川緑陰道路についても、住民の声を聴きながらさらに親しみやすい環境を創出します。

河川の埋め立てと公園整備(イメージ)



六軒屋川にかかる防潮堤の整備費用と河川埋立費用の比較

	工事費	その他かかる費用
埋立て費用	20億円	公園整備費
防潮堤耐震化費用	60億円	修繕費

※金額についてはいずれも概算

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

ベイエリアの新しい街づくり

咲洲地区(コスモスクエア周辺)の活性化

(目指すべき将来像)

これまで一体的な街づくりの視点での開発がすすんで来なかった咲洲(南港)のコスモスクエア地区では大型のマンションが建設されているものの、付近には総合病院も学校も無くアンバランスな開発状態のまま住民に不便を押し付け続けています。この不便を解消し、コスモスクエア地区をベイエリアのシンボル地区の1つとして理想的な住空間のモデルケースに生まれ変わらせます。

(具体的施策)

区役所の移転

湾岸区役所を将来的にATC(アジア太平洋トレードセンター)を中心とするエリアに移転し、咲洲地区に人の流れを生み出しながら、**官庁街と住空間のベストミックス**を創出します。

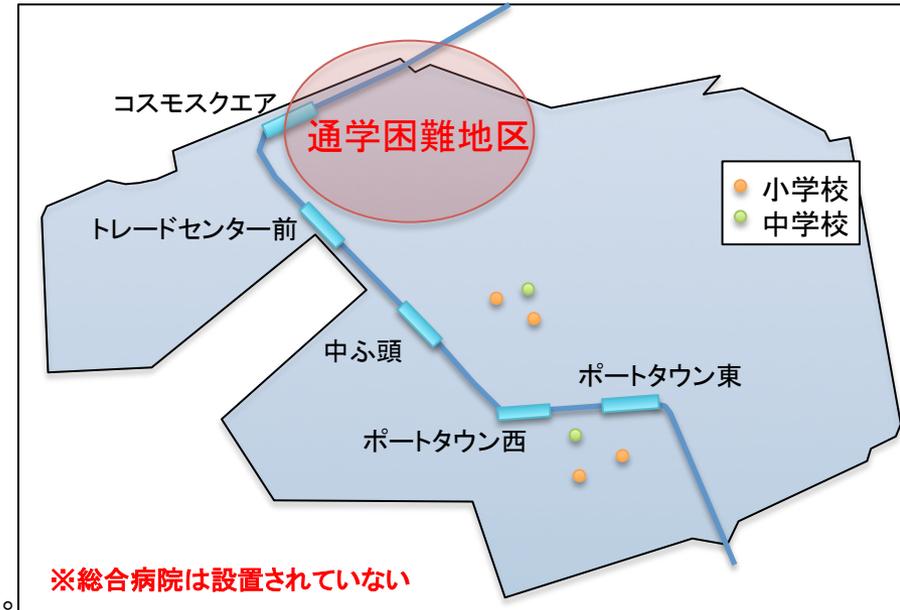
住民の生活のための施設の誘致

IR構想に伴い国際会議・展示場を夢洲地区へ誘致し、インテックス大阪の跡地を利用しながらショッピングセンターやクリニック、住宅などがバランス良く配置される街づくりを目指します。

医療と教育環境の整備

咲洲地区への総合病院の誘致を強力に働きかけるとともに、公共交通機関の学割適用やスクールバスの運行など、**子どもの通学負担を抑える**現実的な施策を検討し、早期に実施します。

咲洲地区の小中学校配置



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

ベイエリアの新しい街づくり

矢倉緑地をよりいっそう楽しめる臨海公園へ

(目指すべき将来像)

自然との調和を維持しながら、マリンスポーツやBBQも出来るよう、施設と利便性を整備し住民が憩える

「**都会のオアシス**」として提供することで街の魅力を高めます。

(具体的施策)

施設やアクセスの整備

大阪市内で唯一、干潟を有する貴重な自然景観を楽しめる海辺で、大阪湾や都心部を一望でき、水の生き物観察やバードウォッチングなどが楽しめる公園として整備されたが、車の進入禁止により突端まで歩いて30分以上かかることや、自然観察以外の楽しめるレジャー設備がないことなどからこれまで住民の利用が進んでいませんでした。

矢倉緑地は自然環境に配慮しつつ利便性を高め、専門の管理員のもとで住民がレジャーやマリンスポーツを楽しめる公園として再整備し、街の魅力の一つとして再生をはかります。

矢倉緑地の風景



(3点とも大阪市HPより)

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

ベイエリアの新しい街づくり

放置自転車対策と 自転車パークアンドライド先進都市への挑戦

(目指すべき将来像)

放置自転車対策の推進と、多様な交通網の充実で
住民の利便性を高めることによって街魅力を向上します。

(具体的施策)

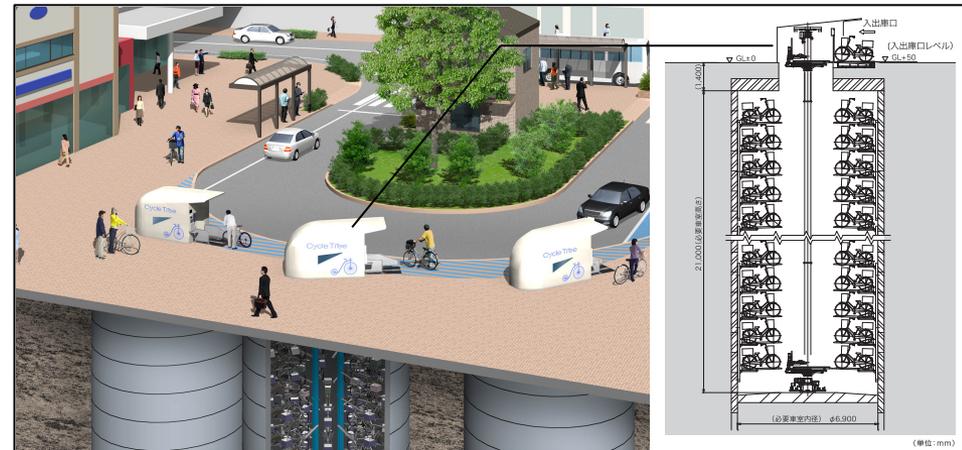
徹底した駐輪場の整備

- ・機械式駅前駐輪場の完備によって駐輪場のスペースを確保することが難しいターミナル駅周辺においても放置自転車問題の抜本的解消をはかり、同時に区内の犯罪の大部分を占める**自転車盗を撲滅**することで犯罪発生件数を抑え、街のイメージアップに努めます。

自転車をシェアする街へ

- ・区内主要箇所にある駐輪場から必要な時だけ自転車をレンタルし、移動先の駐輪場で返却することが出来るコミュニティサイクルの導入によって、**環境にやさしい次世代型交通利便の街づくり**に挑戦します。

機械式駐輪場の様子



※江戸川区の事例

各駅から徒歩3分圏内に需要を満たす駐輪場を完備
放置自転車数 9,038台(H13)→273台(H25)

一基あたりのコスト計算(参考)

建造費 約2億円

収容台数 252台

一回24時間まで200円とした場合 各スペースに1日1回しか
駐輪利用がない場合でも

$200円 \times 252台 \times 365日 = 1,839万6千円$ の年間収入

年間1基あたり300万円の維持メンテナンス費を考慮しても
13年で建設費を償却して利益を出すことができる。

未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

陸と水上の交通網 ～東洋のベニス～

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

陸と水上の交通網 ～東洋のベニス～

湾岸区が抱える交通網の課題

・南北交通の問題

5区の中で最大の面積を有していますが、海や川に囲まれているため東西の交通網が多く、南北に移動するための公共交通機関が少ないのが現状です。

・夢洲・舞洲への交通アクセスの課題

これまで夢洲、舞洲は市民が楽しむ街としての開発がすすんで来なかったために、公共交通機関でのアクセスが難しい状況となっており、今後このエリアを開発していくにあたって大きな障害となっています。

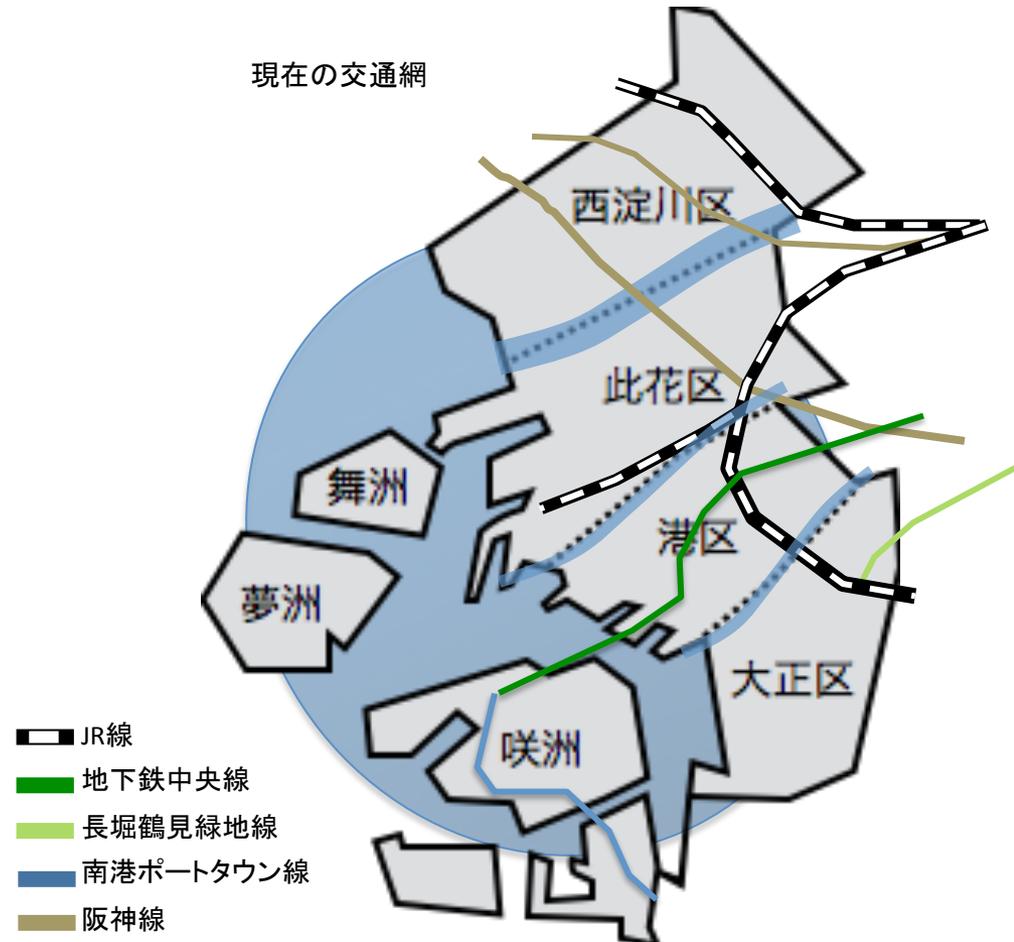
・物流導線と生活圏の混在

湾岸部では港湾物流を中心に街づくりが進められてきたため、**生活圏が物流導線の中に存在し**、住宅が並んでいる道の前を大型トレーラーが頻繁に通るといった問題を抱えています。

・財源の問題

公共交通機関の整備は短期間に膨大な予算を必要とする為、その財源については特に考慮しておく必要があります。

現在の交通網



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

陸と水上の交通網 ～東洋のベニス～

広域行政の一本化による生活・観光の交通網整備

(目指すべき将来像)

- ・南北の交通軸が弱いという弱点を克服し、区内の交通の利便性を高めます。
- ・これまで交通アクセスの課題から開発が進まなかったエリアの活性化を図りあらたな住民を呼び込みます。
- ・将来のIRの誘致を前提に夢洲、舞洲エリアへの交通アクセスを確保し、京都へのアクセス強化によって世界有数の観光地としての湾岸区の魅力を高めます。

(具体的施策)

・水上交通網の創出

水上交通網によって南北の交通を確保。同時に観光資源化を図ります。将来のIR誘致を前提に、IR通勤者の交通手段としても多くの利用者を見込みます。

・地下鉄中央線とJRゆめ咲線の結節

地下鉄中央線はコスモスクエア駅から夢洲にかけて**既に海底トンネルが建設済み**であり、JRゆめ咲線と結節することで、夢洲、舞洲、桜島へのアクセスを強化し、開発を促進します。

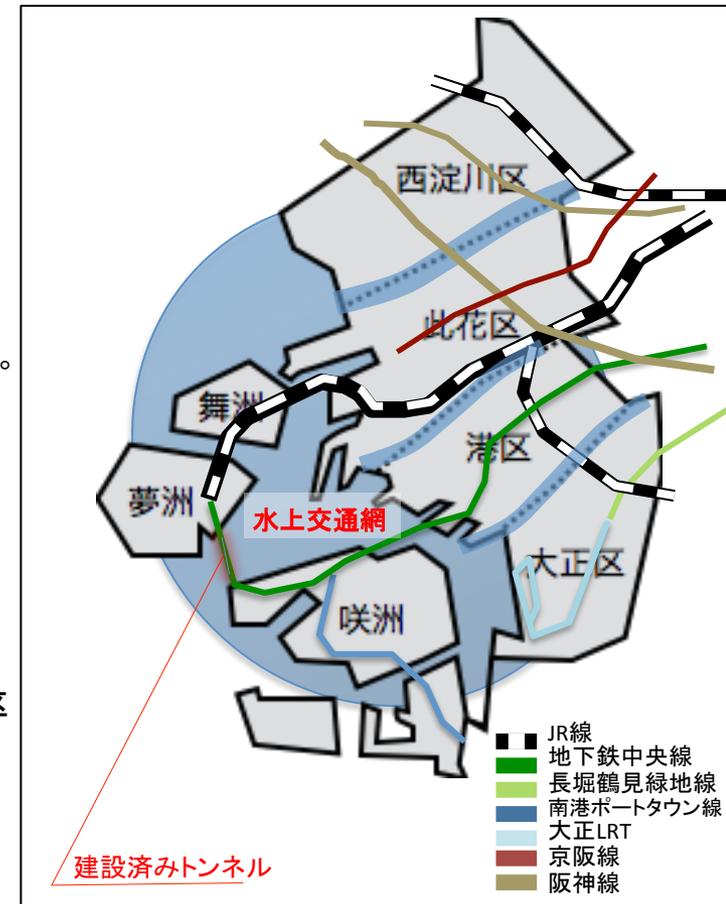
・大正LRTの整備

交通量の多い国道43号線の地下を抜け、大正区役所前まで長堀鶴見緑地線を延伸し、そこからは工費の低廉なLRT(低床式路面電車)の整備によって鶴浜地区への交通アクセスを改善します。

・京阪中之島線の延伸

京阪中之島線のユニバーサルシティへの延伸を強く働きかけ、IRから京都への直通路線を実現します。

将来の交通網(イメージ)



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

陸と水上の交通網 ～東洋のベニス～

物流導線と居住エリアの混在の解消

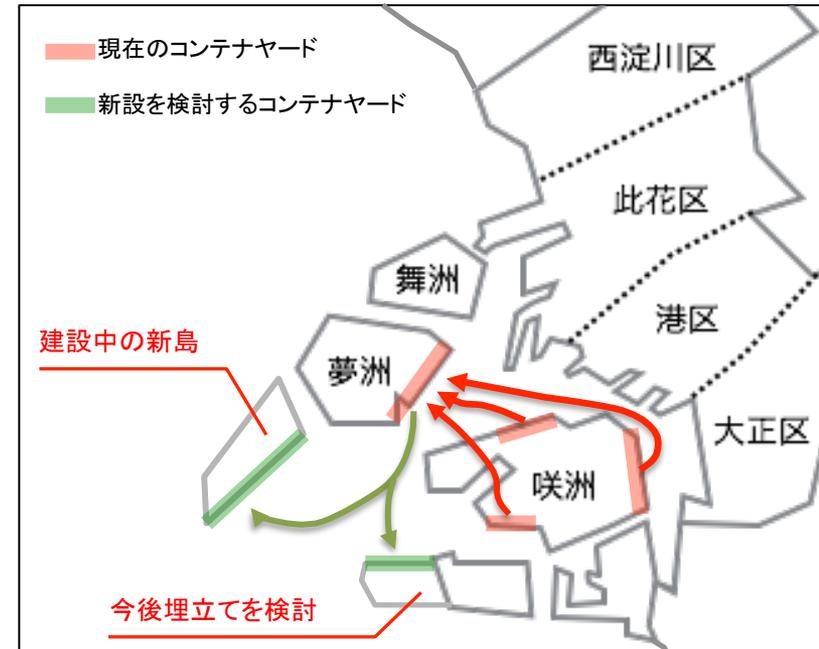
(目指すべき将来像)

- ・物流導線と生活圏の切り離しによって、
高効率な物流と住み良い街を両立させます。

(具体的施策)

- ・コンテナヤードの機能集約
広域行政との連携をはかりながら、
現在、大阪湾内に散在しているコンテナヤードを集約し、
水辺を楽しむ臨海エリア(大阪湾内、咲洲、夢洲、舞洲)
貿易機能に特化した港湾エリア(大阪湾沖2つの新島)
に分化します。
- ・物流導線検討委員会の創設
大型のトレーラーが居住エリアを通過せずに堺や尼崎へ抜けられるよう
新たな沈埋トンネルの整備や、阪神高速湾岸線の利用を促進する施策
など、包括的な物流の最適化と財政的な実現可能生などを集中議論する
委員会を作成し、広域行政に対して提言や要望を行います。

将来の交通網(イメージ)



未来の風を感じる街

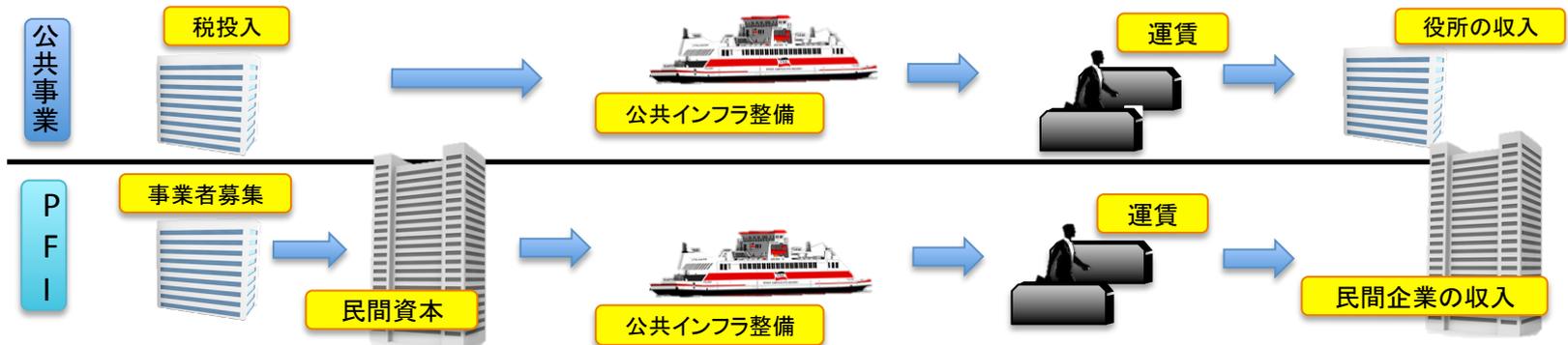
- 湾岸区マニフェスト -

陸と水上の交通網 ～東洋のベニス～

PFIおよびストックの組み替えによる財源の裏付けについて

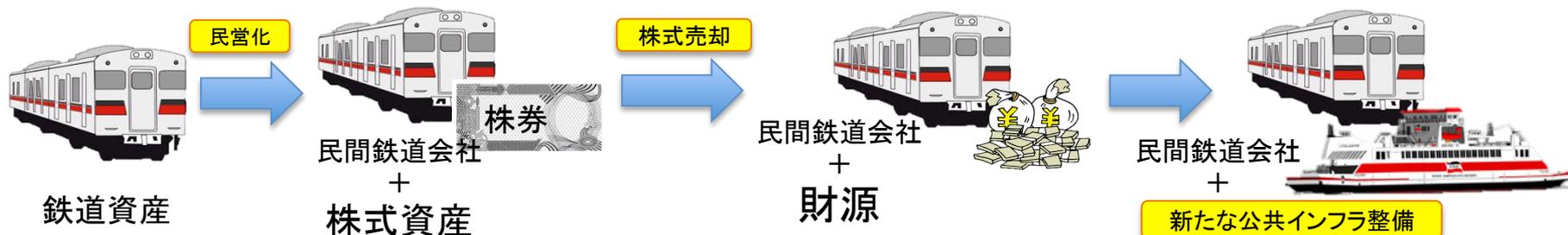
・PFI(民間資本の活用)

公共インフラを整備する際に税金をあてるのではなく、民間事業者に出資してもらい、公共サービスを整備する仕組みです。民間事業者はそのサービスの収益から投資分を回収するため、税金を投入せずに受益者負担でインフラ整備を行う事が出来ます。



・ストックの組み替え

公営地下鉄の民営化によって自治体が保有する事になる地下鉄株を売却し、その売却金で新たなインフラ整備をすすめる方策です。これまで線路や車両、駅舎という形で保有していた資産を、新たな水上交通網などの形に組み替えて保有する事が出来ます。



未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

基礎学力の向上と学校教育先進都市へ

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

基礎学力の向上と学校教育先進都市へ

湾岸区が抱える教育の課題

学力の課題

- ・全国でも低学力の問題が深刻な**大阪市の平均よりも、さらに学力に課題**があります。特に小学生の段階での基礎学力の定着に課題があります。

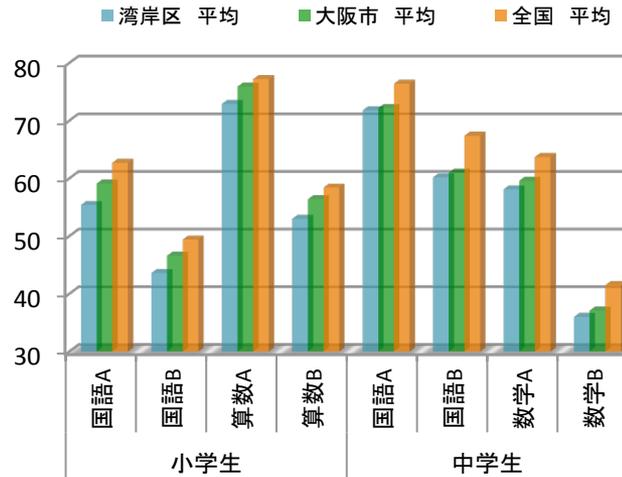
教育環境の課題

- ・教員の事務分担（校務分掌）が大きな負担となっており、授業の準備や子ども達と関わる時間が満足に取れません。
- ・これまでの学力の課題、体力の課題、いじめや体罰の問題について抜本的に解決するような新しい学校運営、教室運営のあり方を積極的に導入することが難しいです。（変化を嫌う体質）
- ・区内40カ所の小学校のうち約半数の19校が12クラス未満の過小校であり、児童が6年間クラス替えを経験せずに固定化された人間関係の中だけで卒業まで過ごす学級が74クラス存在しています。

給食の課題（中学校）

- ・おかずが冷たく、残食率が高いのが現状です。
- ・食物アレルギーを持つ児童への対策が不十分です。

全国学力学習調査 正答率



平均正答率	小学生			
	国語A	国語B	算数A	算数B
湾岸区 平均	55.4	43.6	72.9	58.4
大阪市 平均	59.1	46.6	75.9	56.4
全国 平均	62.7	49.4	77.2	58.4
平均正答率	中学生			
	国語A	国語B	数学A	数学B
湾岸区 平均	71.8	60.2	58.1	36
大阪市 平均	72.2	61	59.6	37.1
全国 平均	76.4	67.4	63.7	41.5

湾岸区の小学校数と過小校数

区	小学校数	12クラス未満の学校数
西淀川	14	4
此花	8	4
港	11	6
大正	11	2
咲洲(南港)	4	3
計	40	19



基礎学力の向上と学校教育先進都市へ

校務分掌の見直し

(目指すべき将来像)

教員の仕事負担を減らし、子どもと関わる時間を確保することで
基礎学力の定着や学級運営の課題に教員が全力を尽くせる体制を整えます。

(具体的施策)

現在学校の教員が担っている事務(校務分掌)を4つの階層に整理

- I. 児童を対象とした教育活動に直接関連するもので、教育的内容を含むもの。
例)教材研究 補助教材の選定 集団生活指導(遠足)など
- II. 児童を対象とした教育活動に直接関連する物で、教育的内容を含むが、
教員以外の人員で対応できるもの。
例)クラブ指導 給食指導 清掃指導など
- III. 児童を対象とした教育活動に関連するが、単純な事務作業であるもの。
例)成績表の作成 補助教材の購入 校内掲示物の掲示など
- IV. 児童を対象とした教育活動に直接関連しないもの。
例)転出入届け 学校だより発行 経理補助 備品管理など

II、III、IVについては見直しをはかり、教員が授業に集中でき、
子どもと関わる時間が十分確保できる環境づくりを進めていきます。

見直しの余地がある校務分掌(一例)

学校運営	学校情報公開	学校だより発行
		ホームページ管理
		緊急連絡メール
		学校公開
		学校協議会
	学校運営庶務	学校開放事業
		経理補助
		施設・設備管理
		備品管理
		業者対応
教務	教務事務	校内環境整備
		校内案内板
		校内掲示物管理
		校内便
		転出入届け
生活・保健指導	生活指導	出席簿管理
		成績一覧作成・管理
		児童名簿作成・管理
		補助教材購入
		校務パソコン
特別活動	特別活動	看護当番
		安全指導
		清掃指導
		給食指導
		学級経営
		児童文化
		クラブ指導

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

基礎学力の向上と学校教育先進都市へ

学校支援体制の強化

(目指すべき将来像)

教員が子どもと関わる教育活動に専念するため、これまで教員が担って来た仕事量を分担できるあらたな学校支援体制を構築します。

(具体的施策)

・学校事務職の増員

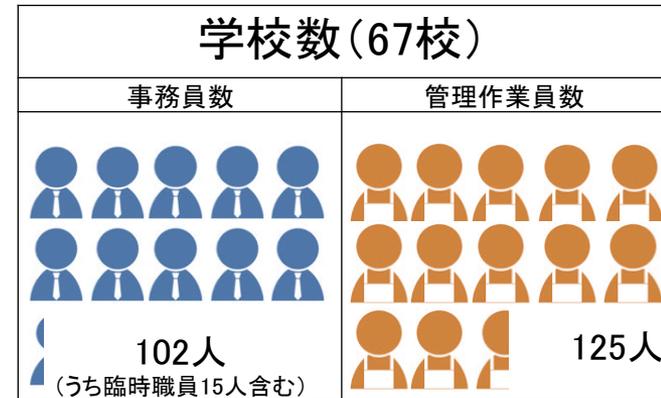
各学校に配置される管理作業員と事務員のアンバランスを解消し、事務員数を増強。

事務職の責任者として事務長を各学校に置くことによって教員の事務負担を減らし、教員が子どもの教育に専念できる体制をつくります。

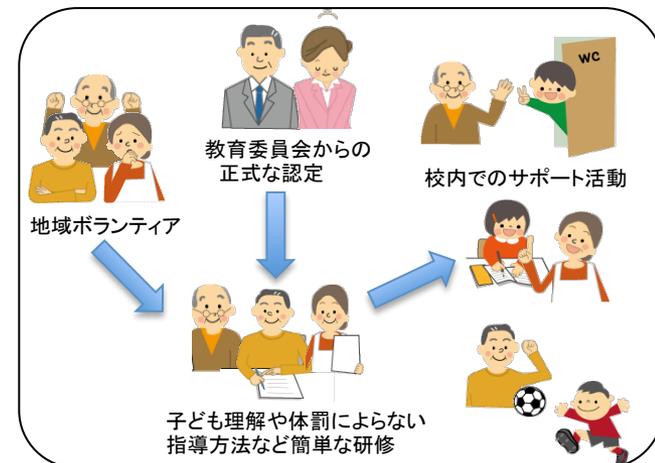
・地域学校サポーター体制の強化

各学校はこれまでも地域人材に登下校時の見守り活動や各種学校行事などで様々な支援されてきた経緯がある。この活動をさらに推進し、児童・生徒の保健室への付き添いや、小学校低学年レベルの簡単な学習支援、経験を活かしたクラブ活動の指導など、学校内でも地域人材が活躍できる体制を構築し、低学力や低体力の問題、生活指導上の課題などに対して地域に開かれ、地域とともに発展する学校作りを促進します。

学校事務員と管理作業員の人数 (湾岸区)
平成26年5月1日現在



地域学校サポーターの運用(イメージ)





未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

基礎学力の向上と学校教育先進都市へ

先進教育導入の仕組み(イメージ)

先進教育の導入 ー学校教育先進都市へー

(目指すべき将来像)

変化を嫌う学校現場の体質を改善し、これまでの慣例にとらわれない先進的な教育方法をいち早く実践導入することで基礎学力の定着や探求型学力の向上、いじめや体罰の撲滅などに具体的な効果をあげる仕組みを創り、学校教育先進都市を目指します。

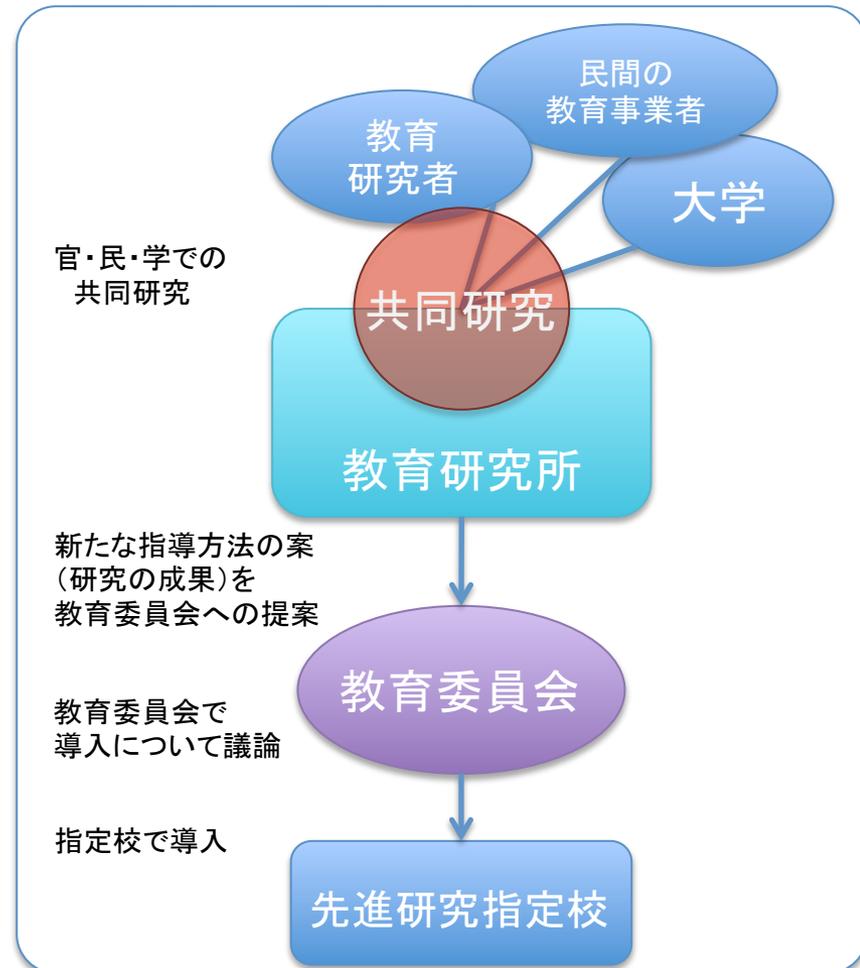
(具体的施策)

・教育研究所の新設

湾岸区教育研究所を新設し、区の抱える低学力の問題や、いじめ、不登校などの様々な課題に対して、これまでの慣例にとらわれない今日的教育方法の研究に官・民・学の総力を結集して取り組みます。

・先進研究指定校の設置

教育研究所での研究成果は区の教育委員会での議論を経て、先進研究指定校での実証研究を行います。先進研究指定校の児童・生徒は区内全域から希望選択制により募集し、率先して先進的な教育方法を受けさせたいと考える保護者にもこれまで通りの教育方法を選択したいという保護者にも望む教育が選べる体制を確保します。



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

基礎学力の向上と学校教育先進都市へ

小中一貫校や公設民営校、
インターナショナルスクールなど
多様な学校のあり方、学びのあり方を実現

(目指すべき将来像)

児童・生徒数の減少に伴い、現在の公立学校のあり方を見直し、一人一人の子どもがそれぞれに合った教育を選べる環境づくり、多様な人間関係の中で生きる力を学べる環境づくりを推進します。

(具体的施策)

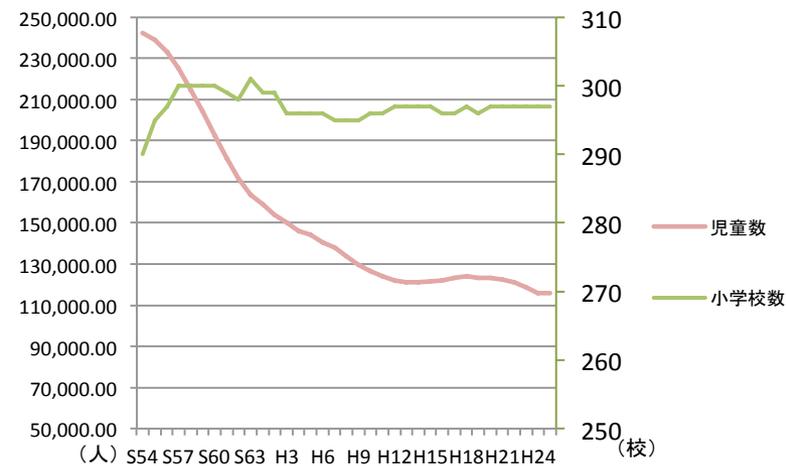
・学校の高機能化と特徴化

いくつかの小学校を統合して、英語教育やICT教育、外国人児童の受け入れや、発達障がい児童のインクルーシブ教育、その他、先進研究教育などの指定校としてそれぞれに特徴を持った学校へと機能強化を図ります。

・教育を選ぶ権利の確保

小中一貫校、公設民営校などの方式も検討しながら、教育の受け手側が自らに合った教育を選ぶことのできる理想的な学校配置、通学区域設定へと緩やかに近づけていきます。

大阪市の児童数と小学校数の推移



	S54	H25
児童数	242,499	115,870
小学校数	290	297

児童数は半分以下に減っているが、
学校数は増加しているため
各学校に十分な予算が行き渡らない。

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

基礎学力の向上と学校教育先進都市へ

小中連携による温かい給食の実現

(目指すべき将来像)

美味しい学校給食を実現することによって学校に来る楽しみを増やします。
子ども達が成長期に必要な栄養素を確実に摂取できるようにします。

(具体的施策)

・親子調理方式の実施

大阪市内全域では実施の難しい親子調理方式(小学校で調理した給食を中学校に配送する)の実現に向けて**一つ一つの学校が抱える課題を具に調査**し、学校間の配送体制を確実に構築します。

地域と一体となった防災教育の実施(再掲)

(目指すべき将来像)

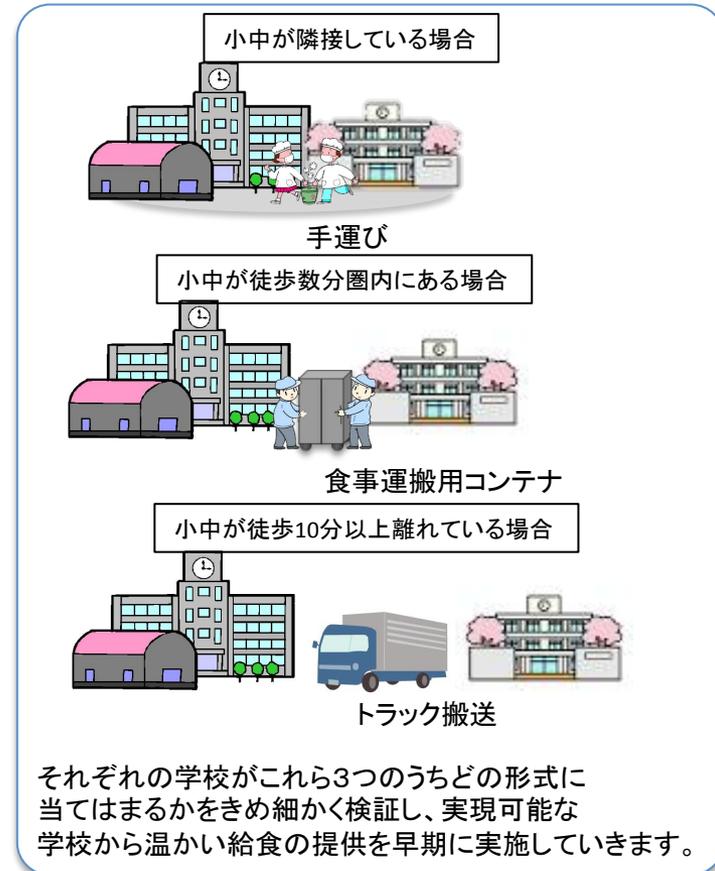
湾岸区では通常の学校教育に加えて、特に津波災害に対する防災知識を習得しておくことが大切であることから、学校教育の中に導入し、すべての児童・生徒が津波災害対策への知識を深めるとともに、将来の地域防災を担う人材として育成します。

(具体的施策)

・土曜日授業を活用した津波防災教育の実施

現在各学期に1日程度行われている土曜日授業を拡大し、日頃の備えや津波に対する知識、実際の避難や要介助者の救援など、防災、被災時に役立つ様々なスキルを地域の大人と一緒に習得します。

親子調理方式で考えられる3つの運搬形式(イメージ)



未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

湾岸区が抱える医療・福祉・子育ての課題

医療

- ・湾岸区は、国や大阪市平均に比べて平均寿命に課題を持っています。大阪市の平均に比べても、特に男性で平均寿命が短く、健康に対する知識と関心度が低いことが原因と考えられます。
- ・約3万人が居住する南港咲洲地区では、これまでも街の開発が一体的に行われなかったことから病院の整備が遅れてきました。今後、IR(統合型リゾート)の誘致によって夢洲地区で労働人口、および夜間の宿泊人口(観光人口)が増加することが見込まれ、このエリアをカバーする総合医療施設の設置が急務です。

福祉

- ・湾岸区は5つの特別区の中でも高齢化率が高く、ひとり高齢者世帯や高齢者同士が介護し合う老老介護世帯を支える地域の実情に合った施策の構築が必要です。
- ・湾岸区には障がい者スポーツ施設「アミティ舞洲」があるが、一般的にはあまり知られておらず、障がい者スポーツの振興拠点として十分な活用がなされていません。
- ・生活保護からの自立を促すための、就労支援体制が不十分であり、積極的な自立支援策に踏み込んでこなかった結果、生活保護世帯率が高止まりしています。

子育て

- ・小学校入学前の児童の保育ニーズについて、きめ細かい地域分析に基づく多様な保育サービスを提供できる保育施設の整備をする必要があります。
- ・留守家庭の子ども放課後施策については、事業者が少なく、子どもを預かって遊ばせるだけになっている場合も多いです。子ども達の学力向上や体力向上、世の中に対する興味関心の醸成等、子どもの成長に資するカリキュラムを提供する複数の事業者から保護者が選択できるよう整備します。

未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

医療

(目指すべき将来像)

病気の早期発見、早期治療による健康寿命の増進

(具体的施策)

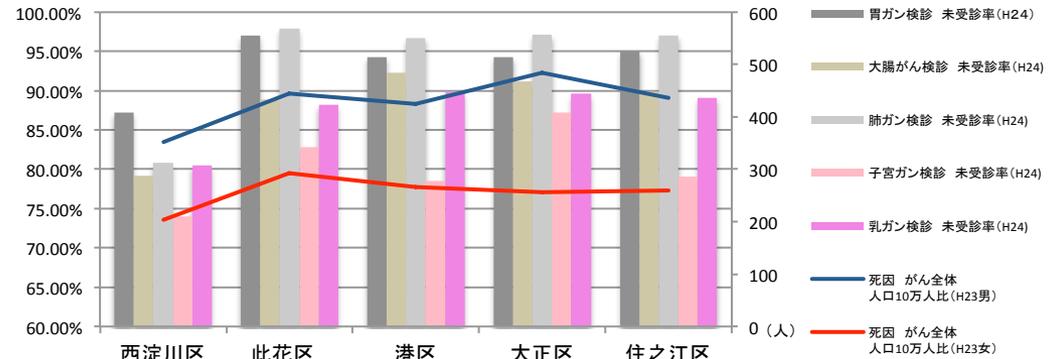
健康診断の未受診率の改善

湾岸区は地域によって、受診率のばらつきがあるが、総じて健康診断の未受診率が高い地域は、がんによる死亡率が高い。健康診断の未受診率を改善する事によって病気の早期発見、早期治療を推進し、区民の健康寿命の増進を実現します。

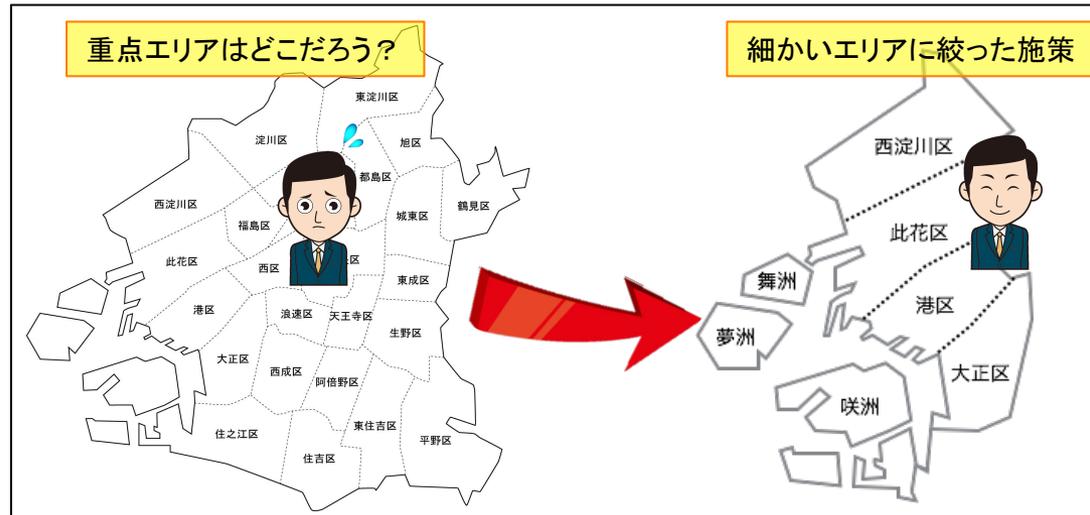
健康意識の啓発

これまで大阪市としても 区民まつりなど、人の集まるイベントに展示コーナーを設置したり、啓発品を配り、健康に対する関心を喚起して健康診断の未受診率改善に取り組んできたが、湾岸区においては特に未受診率の改善に効果をあげている西淀川区をモデルケースとし、健康診断を受診しない割合が高い他の4つの区で、特に課題のある地域を細かく分析した上で重点的に対策を行います。

がん検診未受診率とがん死亡率(湾岸区)



特別区になる事で細かな地域比較ができる(イメージ)



未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

医療

(目指すべき将来像)

咲洲、夢洲地区へ総合医療施設を整備し、咲洲地区の住環境を改善します。

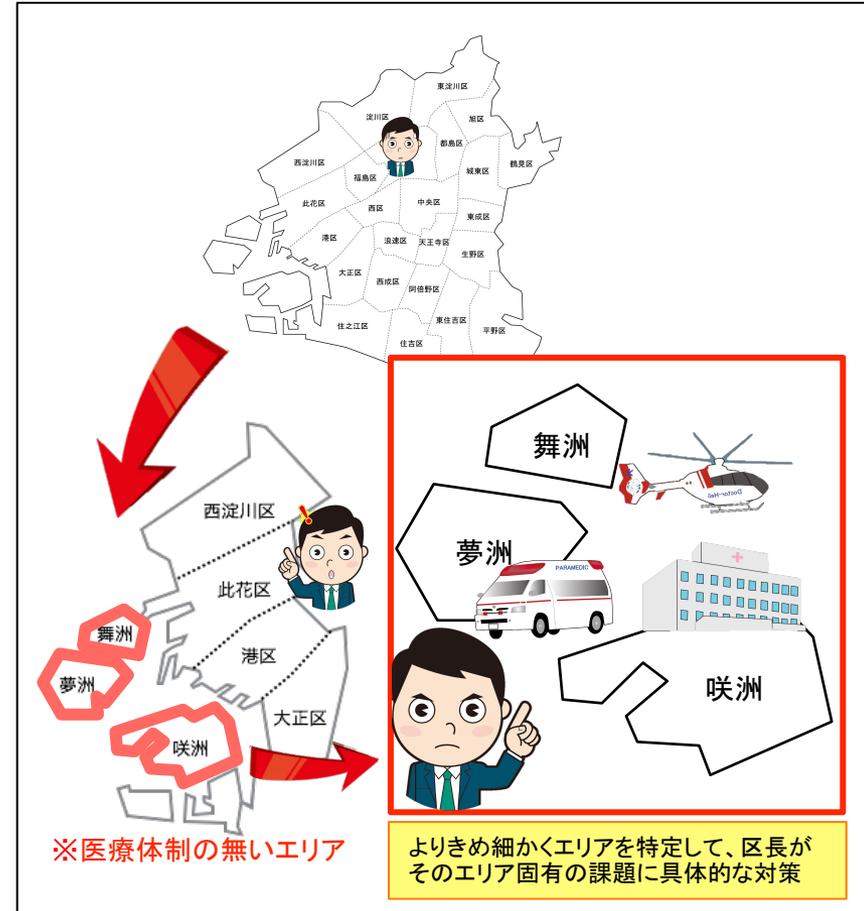
※将来の「IR」(統合型リゾート)の夢洲地区への誘致によって、新たな労働人口は1万人以上、観光人口は年間1,000万人以上増大すると試算されています。

(具体的施策)

総合病院を核とした医療体制の整備

- ・現在、総合医療施設がなく、手術など総合的な医療を受けるためには、海底トンネルや高架橋を使って内陸部へ移動しなければならない咲洲(南港)地区の医療体制整備のために、総合病院を誘致します。
- ・将来IRの誘致によって急激な人口増加が予想される夢洲地域では、津波などの水害や液状化現象などで、孤立する場合も考え緊急の医療需要に対応できるよう、医療機関の配置、ヘリポートの設置など、街の開発計画と合わせて医療体制を詳細に検討します。

特別区になる事でさらに細かな街づくり計画ができる(イメージ)



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

福祉

(目指すべき将来像)

行政と地域、民間事業者の強力によって
高齢者の見守り体制を強化します。

(具体的施策)

- ・高齢者見守りネットワークの構築
「地域包括支援センター」が、「地域」や「関係機関」からの情報を取りまとめ、ひとり暮らしの高齢者等を見守る東京都中央区のモデルを参考に、

行政 (区役所・社会福祉協議会など)

民間事業者 (宅配業者・新聞配達・ガス・水道事業者など)

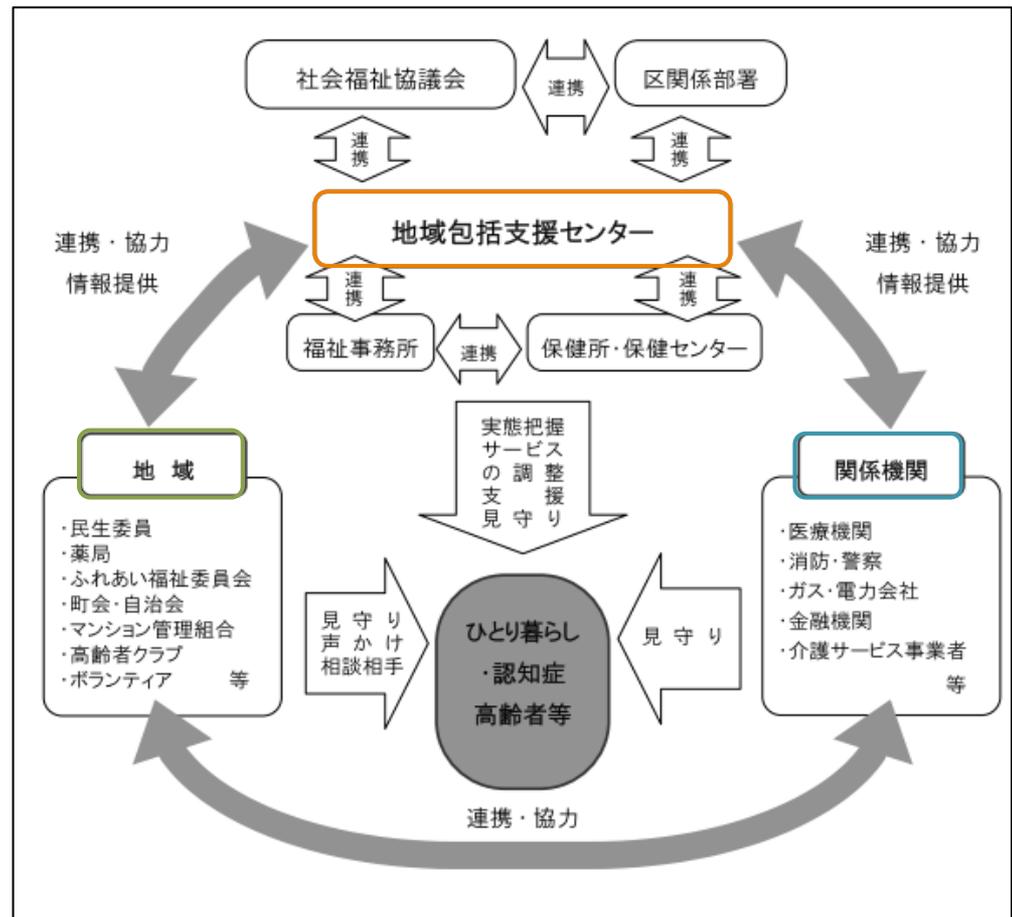
地域 (地域活動協議会・民生委員など)

の3者が連携・協力することにより、これまで以上に
きめ細やかな見守りネットワークを地域ごとに構築します。

高齢者人口と高齢者単独世帯数(湾岸区) 平成24年

	西淀川区	此花区	港区	大正区	咲洲
高齢者人口	20,685	15,545	19,896	17,585	5,204
高齢者単独世帯数	5,347	3,948	5,512	4,343	861

東京都中央区の見守り制度



未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

福祉

(目指すべき将来像)

アミティ舞洲を中心とした障がい者理解と福祉の促進します。

(具体的施策)

アミティ舞洲の認知度を上げる企画を公募

かつて大阪にオリンピックを誘致した際にパラリンピックの会場として障がい者スポーツの施設を整備したアミティ舞洲を広く市民に知ってもらうために、民間から企画書の提案を募り、管理事業者を公募します。

障がい者理解の促進

アミティ舞洲が中心となって小中学校との連携事業や、区内地域団体とのイベントなど健常者と障がい者の交流事業を企画し、障がい者に対する理解を深めます。

障がい者スポーツの全国大会を開催

日本・世界のトップアスリートを招待し、将来パラリンピックに出場するような選手を発掘するのとともに、多くの人に感動を与えるような大会を開催します。

アミティ舞洲



未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

福祉

(目指すべき将来像)

生活保護からの自立促進

生活保護費は年々増大しており、一旦、生活保護を受けると、働かずにお金がもらえることから、勤労意欲が減退していくことから、早期に自立できるようサポートする施策が必要です。

(具体的施策)

・自立支援のワンストップ窓口化

生活保護の申請窓口となる区役所に、ハローワークを併設し、生活保護の申請者に対して先ずは仕事を見つけてもらうよう区役所とハローワークが一体となって就労支援を行います。

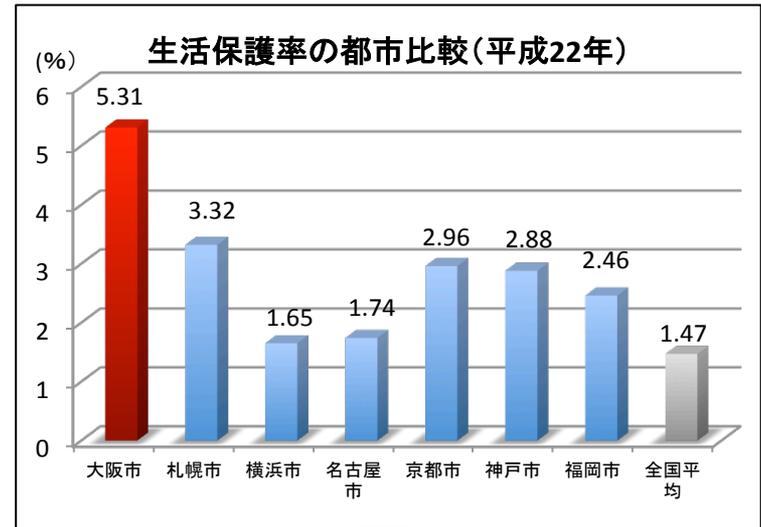
・自立支援専門機関の創設

特別区に自立支援専門機関を創設し、構成員にはケースワーカーや民生委員に加えて専門職人材を登用し、生活保護受給者が抱える様々な就労課題に対して解決を行います。

ハローワーク (職業マッチング)

医師 (ケガ、病気の程度などを判断し、就労アドバイス)

臨床心理士 (勤労意欲や人間関係などについて就労支援など)



自立支援のワンストップ窓口と専門機関(イメージ)



未来の風を感じる街



－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

子育て

(目指すべき将来像)

潜在する保育ニーズを満たし、働く女性が子育てしやすい街に。

※待機児童数とは、定員超過により保育所に入所できなかった児童(保留児童)のうち、やむなく他の保育サービスを利用しています。児童や、主に自宅で求職活動をしている家庭の児童などを除いた児童数のことをいうため、実際に保育園を希望しながら入所できない保育ニーズは、待機児童数以上にあるものと推測されます。

(具体的施策)

潜在ニーズを上回る保育所整備で

まず待機児童完全ゼロを実現する

- ・平成27年度から法定化される小規模保育事業にあわせて、0～2歳の低年齢児を最大19人まで保育する事業を推進します。
- ・民間企業による保育施設の設置、運営を促進し、税投入を抑えながら、保育所受け入れ可能児童数を入所保留児童数よりも多く供給できる体制を整え、待機児童数完全ゼロを実現します。

きめ細かい地域分析を行い、

必要な保育施設の整備を行う

子育てしやすい街を目指し、地域実情に応じた子育て支援策の充実を目指す。地域の保育ニーズを集約し、一定数ニーズがあるものについては事業者を積極的に募集し、多様な保育サービスを整備することで、保育の選択性を高めます。

大阪市域・待機児童数の状況(単位:人)

区 分	平成26年4月	平成25年4月	増 減
新規入所申込数(非該当者を除く)(A)	14,195	13,642	553
新規入所児童数 (B)	11,244	10,572	672
入所保留児童数 (C) = (A) - (B)	2,951	3,070	▲ 119
転所希望 (D) * 1	333	382	▲ 49
育休中 (E) * 2	181	115	66
主に自宅で求職中 (F) * 3	564	659	▲ 95
保育ママ・一時保育利用 (G)	251	176	75
特定保育所希望等 (H) * 4	1,412	1,451	▲ 39
待機児童数 (I) = (C) - (D) - (E) - (F) - (G) - (H)	210	287	▲ 77
就学前児童数	127,317	128,099	▲ 782
保育所在籍児童数	46,150	45,497	653

潜在ニーズ
待機児童数

未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

きめ細かな医療・福祉・子育て政策

子育て

(目指すべき将来像)

留守家庭の子どもが安心して遊び学べる環境整備

(具体的施策)

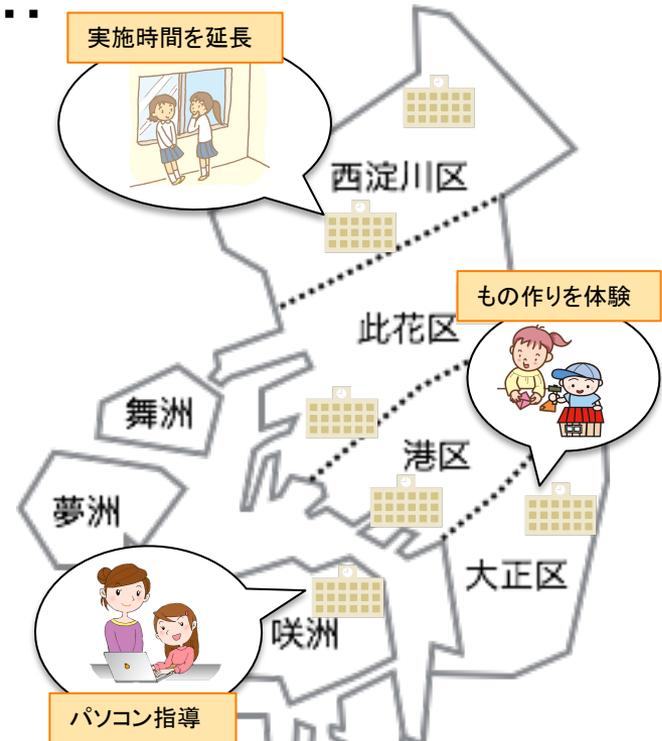
地域に根ざした「放課後いきいき事業」の実施

・留守家庭の子どもに、遊び場を提供する「放課後いきいき事業」の事業者選定における公募条件に各小学校単位ごとに重点ニーズ項目を追加することによって、開設時間の延長や、メニューの多様化など地域の特色ある事業としてサービスの拡充を図る事ができるようにします。

・応募単位を細分化する事でコミュニティービジネス化を促し、小規模な事業者や地域団体でも地域に密着してきめ細やかなニーズを汲み取れば事業に参入できる環境を整え、地元密着企業を嗜好する保護者ニーズが多い地域には、より安心して預けられる事業者選定を行います。

いきいき事業の地域ニーズに応じた運営(イメージ)

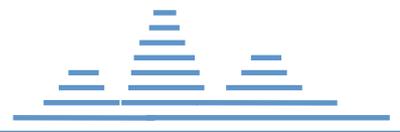
たとえば・・・



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

世界レベルの海上リゾート



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

世界レベルの海上リゾート

湾岸区が抱えるIR誘致にまつわる課題

・高い失業率と

市内最低レベルの事業所数

大阪は全国でも失業率の問題が深刻な都市であるが、湾岸区でも同様に失業率が高止まりしている傾向にある。事業所の数も、大阪市内で最低水準にあり、一度離職すると次の職を見つけにくい環境にあると言えます。

・広大な未利用地

湾岸区には土地の価格が上がっていた時代に計画された港湾埋立事業によって広大な埋め立て地が整備されたものの、バブル崩壊の後、活用されないまま、現在まで手つかずの状態となっています。

・物流導線と居住エリアの混在（再掲）

これまで大阪市の都市計画において、臨港地区は物流機能を最優先として街づくりが行われてきた結果、湾岸部では大型車が頻繁に行き交う物流導線上に居住エリアが混在し、騒音や振動が問題となっています。

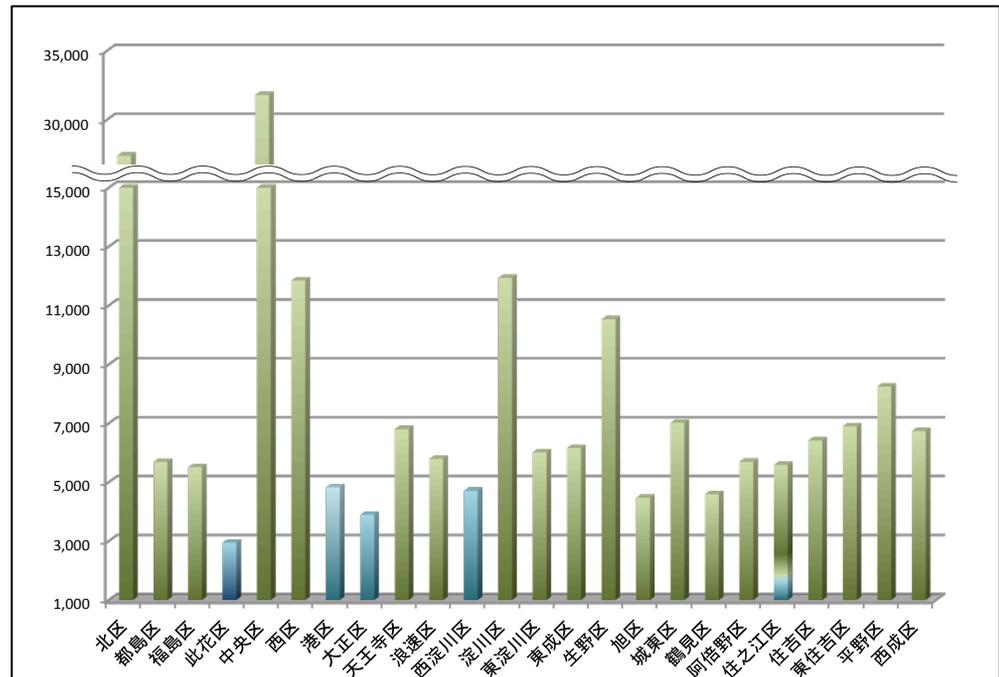
失業率(%)の比較

出典:平成 22 年国勢調査(総務省統計局)

西淀川区	此花区	港区	大正区	住之江区	全国平均
9.0	8.5	9.8	7.9	8.9	5.1

事業所数の比較(H18)

出典:事業所・企業統計調査(総務省統計局)



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

世界レベルの海上リゾート

未利用地の活用と雇用の創出

(目指すべき将来像)

広大な未利用地を活用し、一過性の開発ではなく**持続的な雇用**を生み出します。

(具体的施策)

・統合型リゾートの誘致による

世界トップクラスの海上リゾートの形成

夢洲エリアに統合型リゾートを誘致し、築港、桜島、舞洲、咲洲エリアに点在する既存の施設とを水上交通で連結します。

IR事業の成功の鍵は、リピーターを獲得できるかどうかにかかっていることから、周辺施設が一体となってそれぞれの魅力をPRし、世界トップクラスの一大海上リゾートを形成することによって、何度訪れても新たな楽しみのある街を実現し、**持続的な雇用**を生み出します。

・京都、奈良、神戸へのアクセス強化(再掲)

湾岸部の海上リゾートから京都、奈良、神戸など観光魅力の高い都市へのアクセスを強化。海外からの観光客が何度も訪れたい魅力ある街に成長させ、観光インバウンド年間1,000万人を目指します。

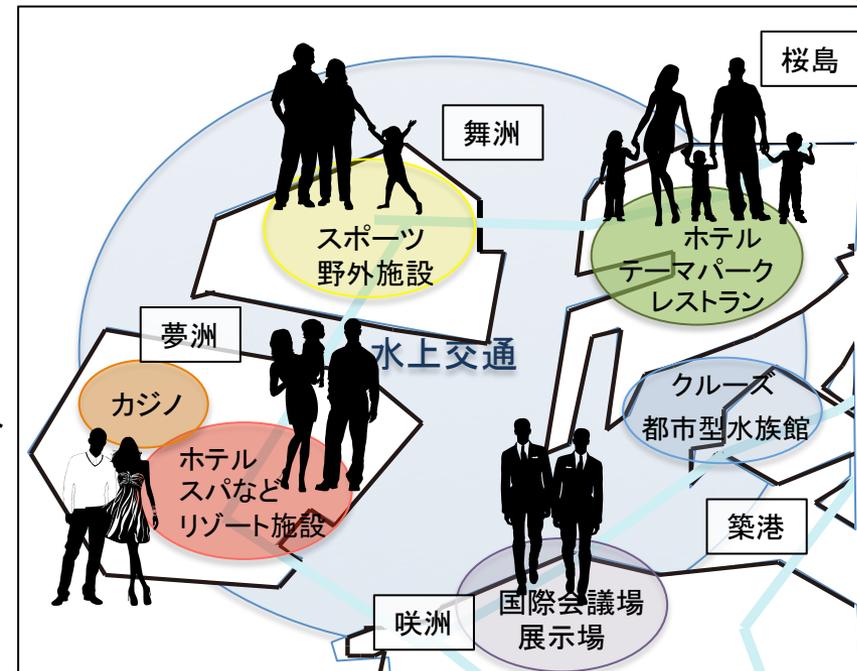
・IR事業者と連携した就労の促進

IR誘致によって生まれる10,000人規模の雇用の需要に、IR事業者、ハローワークなどと連携しながら地域住民に対する優先的な就労支援を働きかけ、他区に先駆けて区内住民の就職率向上を図ります。



後背の観光名所へもアクセス

海上リゾート(イメージ)



未来の風を感じる街

－ 湾岸区マニフェスト －

世界レベルの海上リゾート

IR誘致に対応した湾岸エリアの再編と 居住エリアから独立した物流網の構築

(目指すべき将来像)

- ・IRの誘致に合わせて、景観を保全するエリアと物流に特化するエリアを分離します。
- ・コンテナヤードについての貨物を居住エリアを通らずに円滑に運搬する交通網を整備します。

(具体的施策)

- ・コンテナヤードの機能集約と物流導線の再構築(再掲)
※陸と水上の交通網の頁参照
- ・物流導線検討委員会の創設(再掲)
※陸と水上の交通網の頁参照
- ・夢咲トンネルの拡張(又は第二トンネルの埋設)
現在でも夢洲と咲洲を結ぶ夢咲トンネルでは恒常的に渋滞が発生し、しばしば交通マヒを引き起こしています。将来の新島の活用を視野に、第二トンネルの埋設又はトンネルの拡張工事を広域行政に対して要請していきます。

大型トレーラーの交通網(イメージ)

